

平成 29 (2017) 年度

大阪府高視研と放送コンテスト委員会の歩み

大阪府高等学校視聴覚教育研究会

目 次

大阪府高等学校視聴覚教育研究会事業報告	2
大阪府高等学校視聴覚教育研究会役員、異動ならびに会員消息	3
＜研修会・講座・講習会＞	
C A I 講習会	4
施設設備見学会・放送クラブ指導者講習会	4
放送部顧問研修交流会	5
高校生のための放送技術講座	
平成 29 年度 高校生のための放送技術講座 (I)	6
高校生のための放送技術講座 (II)	14
高校生のための放送技術講座 (III)	21
高校生のための放送技術講座 (IV)	30
＜放送コンテスト関係＞	
第 6 4 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト大阪大会	38
大阪大会決勝および全国大会結果一覧	40
審査員及び運営スタッフ	42
大阪大会参加状況一覧	42
第 6 4 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会	46
＜芸術文化祭関係＞	
第 37 回近畿高等学校総合文化祭 (大阪大会) 放送部門	
(併催) 第 38 回大阪府高等学校芸術文化祭放送部門	46
第 41 回全国高等学校総合文化祭 (宮城大会) 放送部門	52
＜資料編＞	
コンテスト大阪大会決勝 審査委員長講評	53
公式サイト等のご紹介	56

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 平成29年度事業報告

(1) 総会及び研修会

①総会

平成29年 5月17日(水) 大阪市立中央高等学校

②CAI研修会

平成29年 8月 2日(水) 日本写真映像専門学校

③視聴覚施設設備見学会

平成30年 1月26日(金) 関西テレビ放送

(2) 講座及び講習会

①高校生のための放送技術講座

第1回 平成29年 4月23日(日) 大阪電気通信大学

第2回 平成29年 8月20日(日) 大阪私学会館

第3回 平成29年11月23日(日) 東海大学付属仰星高等学校

第4回 平成30年 1月28日(日) 大阪府立金剛高等学校

②放送クラブ顧問交流会

平成29年 4月23日(日) 大阪電気通信大学

③放送クラブ指導者講習会

平成30年 1月26日(金) 関西テレビ放送

(3) 放送コンテスト関係

第64回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会

平成29年6月 4日(日) 予選 大阪緑涼高等学校

平成29年6月18日(日) 決勝 大阪市立青少年センター

関 連 行 事

(1) 大会及び研修会

①平成29年度近畿放送教育研究協議会夏期特別研修会

平成29年 8月 7日(金) 京都アスニー

②第21回視聴覚教育総合全国大会・第68回放送教育研究会全国大会

平成29年10月27日(金)～28日(土) 宮城県仙台市、東北学院高校

③第66回近畿放送教育研究大会京都大会

平成29年11月17日(金) 京都アスニー、京都市立工学院高等学校

(2) 第64回全国高校放送コンテスト全国大会

平成29年7月24日(月)～27日(木) オリンピックセンター、NHK ホール

(3) 芸術文化連盟関係

①第41回全国高等学校総合文化祭放送文化部門

平成29年 8月 3日(木)～8月 4日(金) 宮城県仙台市、日立システムズホール

②第37回近畿高等学校総合文化祭放送部門

平成29年11月19日(日) 東大阪市、大阪商業大学

③第38回大阪府高等学校芸術文化祭放送文化部門

平成29年11月19日(日) 東大阪市、大阪商業大学

事業成果報告

(1) 平成29年度「大阪府高視研と放送コンテスト委員会の歩み」は

大阪高視研ホームページ (<http://www.kousiken.jp>) にて報告

大阪府高等学校視聴覚教育研究会役員

会長	岩崎 判二 (府立泉北高校長)	監査	杉野 正 (府立芦間高)
副会長	八巻 敏幸 (府立桃谷高校長)	同	田淵 幸男 (市立生野工業高)
同	森 知史 (市立咲くやこの花高校長)	同	大西 篤史 (相愛高)
同	安井 大悟 (相愛高校長)	書記	緒方 稔 (府立桃谷高)
		同	河合 功 (市立東高)
		同	山中 華 (箕面自由学園高)
		会計	久下 哲也 (府立布施高)
		同	宮 泉 (市立咲くやこの花高)
		同	藤田 大輔 (阪南大学高)
		顧問	村田 徹 (府立高津高)

役員異動ならびに会員消息 (平成30年4月1日現在)

岩崎 判二 (大阪府立桃谷高校長)	……………	府立泉北高校へ
小畑 敦彦 (大阪府立金剛高校)	……………	府立西成高校へ
久下 哲也 (大阪府立布施高校)	……………	府立池田高校へ

<研修会・講座・講習会>

CAI講習会報告

研修部

1. 日時 平成29年8月2日(水) 13:00~16:00
2. 場所 日本写真映像専門学校(SHASEN)
3. 内容 パソコンによる映像編集実践講座
4. 講師 SHASEN映像クリエイション学科主任 鯖田 明 先生
5. 参加者 20校 20名

昨年度につづき、鯖田先生自ら本格的なテキストを制作して下さり、先生方も熱心に参加していただきました。今後も楽しみです。SHASENのみなさま、ありがとうございました。

(大阪府立桃谷高等学校・通信制 緒方 稔)

施設設備見学会

放送クラブ指導者講習会

- 日時 平成30年1月26日(金) 15:00~17:30
場所 関西テレビ放送(通常見学不可)
内容 スタジオ特別見学
アナウンス部 毛利八郎氏 講演
ドラマ「大阪環状線」木村弥寿彦プロデューサー講演
放送部顧問、意見交換・交流会
参加者 17校 17名

平成29年6月25日(日)6:30ON・AIRの「カンテレ通信」メディア座談会に高視研から中井、平野、伴、加藤、緒方が出演したご縁から、通常見学できないカンテレを、CSR推進局の武田直子さんのご好意で、特別に見学させていただき、しかも毛利八郎アナウンサーとドラマ「大阪環状線」の木村弥寿彦プロデューサーのお話が聴ける！というので、例年以上に多くの先生方においていただきました。カンテレの心意気を感じる、と好評でした。これからも自主企画、自局制作が楽しみです！

(大阪府立桃谷高等学校・通信制 緒方 稔)

放送顧問研修交流会

放送コンテスト委員会

この会は、2012年度から実施しており、**NHK**杯全国高校放送コンテストにおける指導方法から日常の部活動について、あまり交流の機会のない他校の顧問の先生方とさまざまな点で情報交換をし、お互いに研鑽を深める目的で企画しているものです。

今年度は、「高校生のための放送技術講座」(I)と同日に開催しました。

日時：平成29(2017)年4月23日(日)午前9時30分～午後5時

会場：大阪電気通信大学(大阪府寝屋川市初町18-8)

内容：第64回**NHK**杯全国高校放送コンテスト参加に向けての重要連絡

6月に行われるコンテストに参加するために把握しておくべき事項を確認した。

(この講座に出席せずにコンテストへ申し込んだ学校に対しては、後日、コンテスト委員会が指定した日時に別途説明を受けていただいた。)

<先生アンケート回答>

- ・放送部顧問を始めて経験しますが、著作権等、非常に貴重なお話をいただき、心から感謝いたします。

高校生のための放送技術講座 報告

放送コンテスト委員会

1. 高校生のための放送技術講座 (I)

参加申込：38校165人

午前) アナウンス・朗読のための基礎講座 144人

顧問説明会 44人

午後) アナウンス 47人 朗読 64人 番組α 23人 番組β 23人

日時：平成29(2017)年4月23日(日) 午前9時30分～午後5時

会場：大阪電気通信大学(大阪府寝屋川市初町18-8)

時程： 9:30～10:00 午前の部受付

10:00～10:20 開会式・諸注意・連絡

10:20～12:00 生徒全員：アナウンス・朗読のための基礎講座

顧問全員：コンテスト参加のための重要連絡

12:45～13:00 午後の部受付

13:00～16:00 放送技術講座(アナウンス・朗読・番組α・番組β)

※ 閉会式は行いません。

講座：○午前 アナウンス・朗読のための基礎講座

参加 144人

講師 やすだ ともひろ 安田 知博 先生(高校放送部インストラクター、フリーアナウンサー)

大阪府、他府県の放送部OB11人

内容：放送部のアナウンサーに必要な基礎技術や心構えを、実習を通して学びました。今回も多彩な卒業生スタッフが手伝ってくれました。

<生徒アンケート回答>

- ・他校の人と関わることができてよかった。 ・他校とのコミュニケーションは良い経験でした。
- ・他校の方の声がすごかった。ここで習った技術を生かしたいと思う。
- ・他校の技術に触れることができてよかった。それぞれ自分とは違う考え方をされていて勉強になった。
- ・他校の先輩から細かな技術を教わることができて非常に実りある講座でした。
- ・普段は他の高校とは話す機会がなかったので、話す良い機会になりました。
- ・他校の人と知り合えてよかった。 ・いろいろと学びました。
- ・基礎的なこともたくさん教えてもらったし、少し発展的なことも教えてもらってよかった。
- ・3人グループを作ったのは楽しかったです。ニュース原稿を作る練習もできたのでよかったです。
- ・ちょっと時間が短かったかなと思いました。
- ・普段あまり気にしていないイントネーションについてしっかり学べたのでよかったです。
- ・放送に対する知識が全くなかったので基本のことを学べてよかったです。
- ・原稿の作り方が大変参考になった。・先生の話がとても面白く、とても参考になった。

- ・放送の時に注意すべき基本的なことを知ることができてよかった。
- ・メモからアナウンス原稿にするというグループ活動をして、今まで自分が気づけなかったことをたくさん知れて面白かった。
- ・コミュニケーション力がなく最初は戸惑いましたが、他校の人とお話しできてよかったです。
- ・読みの基礎と要点がわかった。 ・他校の方と交流でき、原稿作りを学べて良かったです。
- ・実践などでとても大きく成長することができたと思います、有り難うございました。
- ・アナウンスの基礎を学べてよかった。 ・みんなの前で読むのがもっと多かったらよかった。
- ・知らない人とグループを組んで意見交換ができてよかったです。
- ・他校の方と話す機会が多いのは勉強になってとても良かったです。
- ・アナウンスは誰に伝えるのか、どの情報が伝えるべきなのかを意識することが大切だと学びました。
- ・ランダムに他校と組まされて最初はとまどったが他の高校と交流したり他人の意見を聞けるいい機会だった。
- ・いつも席替えで気まずくなるけど、今回は楽しく話せたと思う。前で原稿を読んだときはすごく緊張した。
- ・時間を考えて原稿を作ったことがなかったので、これからは大切なことを一番はじめに伝えようと思います。
- ・原稿を作るのが難しかった ・前に出る人が多くてビックリした。
- ・知らないことを学べたりして良かったし、読み方を意識しようと思った。
- ・安田先生の講座をはじめて聞いたので、新たに知ったこともあって来てよかったと思いました。

○午前：「第64回NHK杯全国高校放送コンテスト参加に向けての重要連絡」→2ページ参照

○午後：放送技術講座・アナウンス講座

【講師】 やすだ 安田 ともひろ 知博 先生（高校放送部インストラクター、フリーアナウンサー）

岡本 愛 さん（京都橘大学4回生）福井県立羽水高等学校

第60回 NHK 全国高校放送コンテストアナウンス部門出場、ラジオドキュメント部門入選

第59回 NHK 全国放送コンテストラジオドキュメント部門出場

全国高等学校総合文化祭 長崎大会 AP 部門出場

小西 麻公 さん（京都学園大学2回生）大阪市立南高等学校

第61回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 朗読部門出場

第39回全国総合高等学校総合文化祭 滋賀大会朗読部門出場

立塚 卓海 さん（大阪芸術大学2回生）富山県立桜井高等学校

第61回 NHK 全国放送コンテストアナウンス部門出場

第39回全国総合高等学校総合文化祭 滋賀大会アナウンス部門出場

中矢 周作 さん（京都橘大学2回生）大阪府立渋谷高等学校

第61回 NHK 杯全国高校全国高校放送コンテスト アナウンス部門出場

第62回 NHK 杯全国高校全国高校放送コンテスト 朗読部門出場

第38回全国総合高等学校総合文化祭 茨城大会 アナウンス部門出場

- 村上 美宮 さん（京都橘大学2回生）大阪市立南高等学校
 第61回、第62回、NHK杯全国高校放送コンテスト出場。
 第39回全国総合高等学校総合文化祭 滋賀大会出場
- 森 絢子 さん（京都教育大学2回生）広島県立大門高等学校
 第61回 NHK杯全国高校全国高校放送コンテスト 朗読部門出場
 第62回 NHK杯全国高校全国高校放送コンテスト 朗読部門入選
- 金城 涼花 さん（大阪芸術大学1回生）沖縄県立古座高等学校
 第63回 NHK杯全国放送コンテスト朗読部門出場
- 小林 咲希 さん（甲南女子大学1回生）大阪府立渋谷高等学校
 第62、63回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門出場
 第40回 全国高等学校総合文化祭 広島大会出場
- 高濱 梨樺 さん（立命館大学1回生）広島県立広島国泰寺高等学校
 第61回 NHK杯全国高校全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門優良賞
 第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門準決勝進出、
 第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門出場
 第63回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門決勝進出、
 第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門優良賞
 第40回 全国高等学校総合文化祭 広島大会 AP 部門審査員特別賞、アナウンス部門出場
- 寺澤 穂乃香 さん（関西学院大学1回生）大阪府立豊中高等学校
 第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門出場
 第63回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門入選
 第40回 全国高等学校総合文化祭 広島大会アナウンス部門審査員特別賞
- 柳 日菜子 さん（大阪芸術大学1回生）広島県立五日市高等学校
 第61回 NHK杯全国高校全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門優良賞
 第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門入選、
 第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門準優勝
 第63回 NHK杯全国高校全国高校放送コンテスト 朗読部門出場
 第63回 NHK杯全国高校全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門準優勝
 第39回全国高等学校総合文化祭 滋賀大会アナウンス部門出場
 第40回全国高等学校総合文化祭 広島大会朗読部門審査員特別賞

内容：コンテストのアナウンス部門に出る人と、部門が決まっていない人を対象に行った。

自作原稿の書き方・読み方の指導、話題探しや取材など、アナウンスに必要な要素を学んだ。

<生徒アンケート・アナウンス午後>

- ・たくさんの先生の意見をいただいてあと一か月ですが原稿の直しを頑張ろうと思いました。
- ・たくさんの先輩、先生たちからアドバイスを聞いてよかったです。ありがとうございました。

- ・たくさんの先生方にアドバイスをいただけてすごく良かったです。
- ・この体験を6月につなげたいと思います。
- ・午前に引き続き、講師の方々や他校の方から学ぶものが多くあったと思う。たくさんの方々と情報交換ができてよかった。
- ・アナウンスの文章の書き方の基礎を教えていただけたら、自分のアナウンス中の問題点を把握することができました。何度も練習して、見つかった多くの問題点をしっかりと直せるように努力したい。
- ・先生たちに聞きに行くのはとても怖かったけど、聞いてもらってアドバイスなどをたくさんもらったのでとてもためになりました。
- ・良い勉強になりました。部員に聞いてもらうのと他の人に聞いてもらうのは、言ってくれることが全然違うので楽しかった。
- ・今まで滑舌しか気にしたことがなかったのですが、今回で音についても考えさせられました。午前の授業で褒められたので嬉しかったので意欲が出ました。
- ・卒業生の方のアドバイスがとても参考になってよかった。生放送も楽しかった。
- ・強調の仕方とかわかってよかった。鼻濁音も何となくコツを教えてもらってよかった。
- ・とても楽しかったです。 ・読み方ひとつで伝わり方がこんなに変わるんだ、と思いました。
- ・たくさんの意見を聞いてよかった。 ・貴重なアドバイスをたくさんもらった。
- ・とても有意義な時間を過ごせた。普段感想を聞いている友達の見解とは違うことを聞いた。勉強しないとダメだと思った。
- ・やはり先輩に話しかけるのは緊張します。最初はずっとひとりでした。最後はみんなワイワイとしていたので良かったです。
- ・大学生の先輩に文章の構成やアナウンスに対する不安・悩みを相談できてよかった。ためになりました。
- ・先生や学生さんと話すことで、放送で気をつけなければいけないことをたくさん気付けたので、参加して良かった。
- ・人に伝わりやすくするための工夫・情報リテラシーと向き合う機会はありませんでしたので、この時期に参加できてとても良かったです。
- ・渋谷高校の先輩にたくさんのことを教えてもらってためになった。
- ・はじめのほうは何をしたらいいのかよくわからなかったが、先生方からアドバイスをいただけて良かったです。
- ・少人数だったのでいっぱい大学生の先輩方に話しかけることができすぎてすごく勉強になり楽しかったです。楽しかった。
- ・他校の方、先輩方、先生方に自分の読みを聞いていただけてとても良かったし、楽しかったです。アドバイスしていただいたことを今後にかせて行けたらなあと思います。
- ・ここに来なければ気づけなかったことを教えてもらいました。ありがとうございました。
- ・1から教えていただき、放送の基礎を吸収できました。これを基盤としてもっと上手になれるよう努力したいです。

- ・朗読でも嫌な顔せず一生懸命答えてくれてありがとうございました。
- ・このような講習会に初めて参加しましたが、たくさんの人とお話しができてとても楽しかったし上手になりたいと思いました。
- ・たくさん先輩方に原稿の書き方を教えてもらって凄く勉強になりました。
- ・私は普段は朗読ですが、基礎から学びたくてアナウンスに参加しました。先輩たちのアドバイスは本当のためになったのでこれからも頑張りたいです。
- ・たくさんの方とお話をして、読みを聞いてもらえて嬉しかったです。メールアドレスを下さった方もいるのでどんどん相談して楽しみながら上達していければいいと思います。

<先生 アナウンス午後 アンケート回答>

- ・原稿をすでに書いている生徒が予想より多かったように思いました。
- ・先輩からの直接のアドバイスを受けられるのは貴重ですね。ただ自由度が少し高すぎのよう感じました。各学校での練習方法の工夫や優秀アナウンスの品評なども少し別の内容も盛り込まれても良いのではと感じました。
- ・生徒の意見交換や活動を中心とした研修で生徒にとって良い勉強になった。周りの生徒のレベルの高さや意識の高さに少し戸惑っているようでした。

○午後 朗読

【講師】 なかやま 仲山 とよあき 豊秋 先生（立命館大学）

1949年、広島県尾道市生まれ。明治大学卒業後、1974年にNHK入局。アナウンサーとして山形、仙台、名古屋、東京、大阪などの各局に勤務。プロ野球などのスポーツ実況にかかわったほか、当時としては例のなかったアナウンサーによるドキュメンタリー番組を企画制作し、ドキュメンタリー特賞を受ける。NHK文化センターなどの「話し方講座」の指導はアナウンサー時代から継続し行っている。2009年から立命館大学文学部コミュニケーション学域で教壇に立つ。専門は「言語表現」「音声表現」「言語伝達」「日本語文化」。

内容：「朗読アプローチ」についての講義の後、公開個人指導を行いました。

<生徒アンケート回答>

- ・中山先生の講義が、ものすごくわかりやすかった。
- ・自分がだめな点をはっきりと認識することができて、よい経験になりました。
- ・他の人へのアドバイスが、自分にとっても役に立つものとなった。
- ・自分の癖や審査の基準など、お伺いしたかったことが沢山ききました。
- ・気のせいかもしれませんが、朗読を聞く耳も身についたような気がしました。
- ・Q&Aの方式は、試していけたらいいと思います。
- ・前回とは違うことを聞けて面白かった。
- ・朗読がこんなに難しいものとは正直思っていませんでした。
- ・アドバイスしていただいたことをきちんと覚え、今後の活動に役立てたい。

- ・自分の今の読みの課題に向き合うことができました。
- ・少し長く感じました。ためになります。もう少し短い方が集中できます。
- ・他の人の朗読が聞いてよかった。 ・実況の多い説明だったので、心に残った。
- ・個別レッスンがとても役にたった。 ・朗読のテクニックを教えていただけて良かったです。
- ・抽出箇所を読んでいて、どうしたらよいかかわからないところがあったが、その悩みが、今回、随分、解消された。

<先生アンケート回答>

- ・大変参考になりました。
- ・論理的な説明がとてもわかりやすかった。普段の授業にも生かせることが多くとても勉強になった。放送部としてアナウンスも習ってきましたが、やはり基本の部分はそう変わらずなのだなと実感しました。よく分かりました。専門用語で頭の中が整理できました。
- ・風呂のアナウンスの方法を教えてください大変勉強になりました。もし今後可能でしたらプロの朗読を専門にされている方のお話を伺うことができたらと思います。

○午後 番組α

【講師】 久下 哲也 先生 (大阪府立布施高等学校)
小畑 敦彦 先生 (大阪府立金剛高等学校)

内容：実際の作品を視聴して、意見交換をした。

<アンケート回答>

- ・ワークショップのようで良い経験になりました。

○午後 番組β

【講師】 中井 勝久 先生 (大阪夕陽丘学園高等学校)
伴 慎一 先生 (大阪府立今宮工科高等学校)

内容：作品をこれから作りたい学校を対象に、番組作りの基礎を学んだ。

<生徒アンケート回答>

- ・それぞれ重要視する点の違いが見えたので楽しかったです。
- ・勉強になりました。 ・他校との合作が良い経験でした！
- ・話し合いをする人がどんな性格なのかと伺っていて、自分を押しさえぎっていてズバツと意見を言えることができませんでした。周りの目を気にせずにズバツと言うときは言うようにしたいです。そしてあらすじをしっかりと完成できなかったのが悔しいです。
- ・初めて番組の講座に出たのですが、とても有意義な時間を過ごせました。これを活かせるよう、明日からまた頑張りたいです。
- ・グループを作って一つのラジオドラマを作るというのが楽しかったです。とてもためになりました。また、こういうワークショップをしてほしいです！

- ・他の学校と交流できる良い機会だった。
- ・やっぱりまた固定観念が染みついているな、と思いました。これをネタに色んなのを考えたい。
- ・どんな風に番組を作ればいいのか学べてよかった。
- ・各チームで番組を作るのがとても楽しかった。
元のベースは同じなのに、各チーム全く違う物語ができていて、おもしろいなと思った。
- ・一から物語を作るのはとても大変でつかれることだと知った。
- ・番組制作の基本から実践までを体験できてとても貴重な時間だった。
- ・初めは「ラジドラ作るのー」と不安だったけど、班で話が盛り上がっていくうちにとても楽しかったです。
- ・どんな感じでドラマを作ったらいいのか分かりました。
著作権について全然知らなかったなので、この講座を受けてよかったです。
- ・楽しかったし、話の変わっていく様子がたくさんあって勉強になった。
- ・初めての参加ということで緊張していましたが、先生も周りの人も良い人でやりやすかったので非常に助かりました。
- ・文章の構成などを考えるのが難しかった。 ・一から話を考えるのが難しかった。
- ・番組の解説もしっかりしてくださいましたので良かったです。ラジドラのこともよく知れたので良かったです。
- ・いろんな人の作った話を聞いていいなと思ったし、案を出せたので良かった。
- ・自分とは違った物語の進み方をグループの方から提案してもらってとても新鮮でした。
コンテスト用とはネタの話が書けるのがすごく楽しかったです。
- ・ドラマを1から4人で作ってめっちゃ楽しかったです！学校でも頑張りたいと思います。

<先生アンケート回答>

- ・生徒から依頼されて、教員のみでしたが参加させていただきました。部員会のWSの進め方なども含めて大変ためになりました。
- ・とても楽しそうに生徒が動いていてとてもいい試みだったと思います。

○その他伝えたいこと

<生徒アンケート回答>

- ・昼休みが少し短かったです。5分から10分長くしてください。
- ・リレーがしたい。腹式とかできるようになるじゃないですか。基礎体力と放送の実力の因果性。
- ・午後の部の時間が少し長く感じます。 ・これからもがんばります。
- ・先輩たちに聞いたことを身に付けて頑張りたいと思います。
- ・読むスピードをもっと遅くできるようにがんばります。
- ・勉強になりました。また講座に参加したいです。
- ・今日は楽しかったです。 ・今日は1日ありがとうございました。

<先生アンケート回答>

- ・Nコンの諸注意は番組制作向けが中心でしたので部門別にしていただければ良かったと思います。
- ・アナウンス朗読ともに大変勉強になりました。リレーアナウンスが楽しかったです。
- ・よくわかりました。 ・役に立ちました。
- ・放送部顧問1年目のため知らないことが多く勉強になりました。パワーポイント画面の印刷プリントがありがたかったです。お心遣いありがとうございました。
- ・NHK杯コンテスト終了後の作品を自己文化祭などで披露することは可能ですか？
- ・朗読部門のみの参加ですが番組部門の参加に関わる諸注意でした。著作権の内容についてはとても勉強になりました。著作権の中身の扱いは充分注意する事は理解していましたが実際に放送する上では最新の注意を払わなければいけないことがよくわかりました。番組部門には出ないため関係は無いですが今後の著作物の扱いについての注意点を勉強できたと思いました。わかりやすい解説をありがとうございました。
- ・番組には大変な細かい処理が必要なんだと改めて思いました。
- ・皆さんで共通認識が持てて良かったです。 ・著作権の詳しい取り決めが分かりよかったです。
- ・顧問も基礎講座を聞くことができたらいいのですが。
- ・滋賀県から参加させていただきました。大阪の生徒のみなさんが自然と「一步前に出て」おられたことに感心しました。
- ・たくさんの情報をいただきました。PowerPoint を紙ベースにしたものもあったので聞き漏らしメモをし損なったところがあったのでありがたかったです。
- ・校内の生徒、他団体に対する隣接権は知りませんでしたので助かりました。有り難うございました。
- ・朗読の基本的な考えや技術を教えていただき生徒には大変有意義でぜひ聴講させたいと思いました。来年度は1年生も参加できる日程でお願いしたいと思います。
- ・アナウンスの進め方と朗読の進め方が違っていたのでアナウンスの方が分かりませんでした。
- ・時期的にはちょうどいいと思う。ゴールデンウィーク中に説明会をするのは反対。準備などに影響ありと思います。大学の紹介を含めた開会式はとても良かった。放送に関する興味や関心を持てる設備が揃った大学だと感じた。駅からの利便性も高く初年度の説明会を実施するならばこのように設備が整った大学を利用してやる方が良いかと感じた。次年度も電通大でお願いしたいくらい。
- ・1年生に期待していましたが入学式からオリエンテーションなどなどクラブ入部行事が21日にありそれまで部員確保ができるか分かりませんでした。参加させたかった1年生は参加できずに残念。2, 3年生を連れてきましたがもう少し申し込みを遅くなりませんか？
- ・8月には1年生向けの講座もあればうれしい。
- ・とても良い機会だと思いました。次回も参加したいと思います。有り難うございました。
- ・今年は近畿大会の運営がありますがどうぞ頑張ってください。
- ・すごくためになる話ばかりだったのでよかった。
- ・初めてのことばかりで大変でした。 ・いろんなことを学べて楽しかった。

2. 高校生のための放送技術講座(Ⅱ)

参加申込：21校 生徒：88人 顧問：24人

午前) 全国大会報告 80人

午後) アナウンス 26人 朗読 33人 番組 35人

日時：平成29(2017)年8月20日(日) 午前9時30分～午後5時

会場：大阪私学会館(大阪府大阪市都島区網島町6-20)

時程：9:30～10:00 午前の部受付

10:00～10:20 開会式・諸注意・連絡

10:20～12:30 全国大会報告会・作品鑑賞(番組・アナウンス・朗読)
第4回放送技術講座(1月28日実施)に関する連絡

13:15～13:30 午後の部受付

13:30～16:00 放送技術講座(アナウンス・朗読・番組)

講座：

○午前 「全国大会作品・出場生徒にきく」(生徒全員)

- ・ 全国大会の運営にあたった教員から

番組の著作権に関して：中井勝久先生(大阪夕陽丘学園高)、小畑敦彦先生(府立金剛高)

審査員の立場から：戸野佑亮先生(府立槻の木高)、酒井学先生(府立堺西高)、

伊藤元也先生(四天王寺学園高)

審査部から：平野賢一先生(近畿大学附属高)

- ・ 全国大会作品鑑賞および参加した生徒から

全国大会で得たもの、制作時の苦労話やエピソード、後輩に対してのメッセージ

創作ドラマ部門 全国1位「バレンタイン・デイ」 上映 出場者コメント

朗読部門 松本さん、小林さんの朗読実演 出場者コメント

アナウンス部門 出場者コメント

校内放送研究発表会 出場者コメント

全国総文祭VM部門 出場者コメント

<午前の部 生徒アンケート回答>

- ・ 自分の拙い話もこれからのチーム大阪のみなさんにとって少しでも参考になればと思う。私も来年も頑張ろうと思った。
- ・ 全国大会出場者も、それぞれ感じたこと、伝えたいことというのが異なり、それを聞いて面白かった。
- ・ 全国大会を経験した先輩方や先生方の生の意見を聞くことができてよかったです。
- ・ 東京まで見に行きましたが、『バレンタイン・デイ』は何回見ても飽きない作品で、自分も番組を作りたいと思いました。
- ・ もう一度、準決勝・決勝に行った方の朗読が聴けてよかった。

- ・実際、体験した人の“生の声”を聞けるのはとても良いと思います。今年は8月だったので、特に、新鮮な状態の情報を聞けたように思います。
- ・初めの方の先生方のお話が長いと思いました。
- ・全国大会へ進まれた方々の発表を聴いて、自分に足りないものが分かった気がします。技術面はもちろんですが、何よりも、心から楽しみに行くということを忘れていたかもしれません。
- ・やはり、全国大会に進んだ人はすごいなあと思いました。松本さん、小林さんの朗読が素晴らしくて感動しました。
- ・例年よりも楽しく感じました。特に印象に残っているのは、朗読の実演と、全国大会出場者の感想です。
- ・いろんな人の話を聞いてよかった。全国大会の楽しさ、読むことの楽しさが伝わりました。
- ・報告がグダグダな感じだったのが引っ掛かりました。実演はよかったです。
- ・全国大会に出場していた人たちとの目が輝いていて、いいなあと思った。
- ・実際に全国大会に参加した人の意見を聞いてよかったです。
- ・たくさんさんの裏話や体験談を聞くことができ、勉強になりました。
- ・番組の優秀作品を見て、来年のNコン番組制作が楽しみになってきた。
- ・全国大会出場者が話す時は、あらかじめ、話す学校を決めて教えてほしいかったです。
- ・作品の完成度が高く、今後、作品を作る時の参考になった。
- ・東京に行った時のことを思い出して、ちょっと感動しました。
- ・全国大会に出た人の感想やアドバイスを聞いてよかった。
- ・先生が「仲間なんだから」と言っていたのを聞いて、その言葉が心に残った。
- ・全国の高校の事、原稿の書き方、たくさんさんの新しいことが学べました。他校の方とも交流でき楽しかったです。
- ・いろいろな学校との交流や全国大会に出場した方の素晴らしい作品を直接聞いてよかったです。
- ・たくさんためになる話を聞いてとても良かったです。
- ・全国に行った作品を初めて見ることができました。
- ・いろいろな作品を見たり、話を聞いたりできたので参考にしたいです。
- ・いろいろな作品を見たり、注意する点が分かったりと貴重な体験となりました。
- ・著作権のことについて、チャイムや校歌の著作権が広くて驚いた。
- ・審査員からの意見が聞いてよかった。どんな作品がタブーなのかが知りたい。
- ・家の事情で東京に行けなかったもので、東京のお話を聞かせていただけてありがとうございます。
- ・少し途中眠くなったりした時もあったので、もう少し刺激のある話を聞きたいです。
- ・全国大会に出場した人の話を聞くことができました。他校の作品を見て学ぶことがあったのでこういう機会を増やしてほしい。
- ・朗読部門に出場した人の読みを聞くのは初めてで、こんなにも表現力があるとは思わなかったもので、すごく衝撃的でした。
- ・全国大会でも朗読を聞いたけど、あらためて聞くと、会話の部分になると表情が変わったりしてすごいなと思いました。

- ・おもしろい作品は何回見てもおもしろいと思った。
- ・大会の話はあまりくわしく聞かないので、今日しっかり聞けたように思います。
- ・全国に行った方の読みや感想を聞くと、自分も全国へ行ってたくさんの良い作品や読みを生で聞いてみたいと思いました。
- ・松本さん、小林さんの読みを聞近で聞けたのはすごく良かったです。全国に行った人の話をたくさん聞いてとても参考になりました。
- ・東京の振り返りができてよかった。 ・よい思い出ができました。
- ・「Nコンの報告会」では他では聞けないようなお話が聞けたので、とても良いものだと思います。作品鑑賞ができないものがあると思うので、もう少し後に講座を開いてもいいのではないかと思います。
- ・全国大会に出場した学校の生徒さんのお話を聞けるのは良かったです。しかし、みなさん急に考えてお話されているようだったので準備されていたらよかったかなと思いました。
- ・全国大会の出場者の方々の話を聞いて、全国大会と府大会の違いを知れてためになった。
- ・TVで見られなかった作品や聞けなかった作品を見て、聞けて、勉強になりました。
- ・編集技術がすばらしい。
- ・知らなかった許諾の話、審査のグレーの対処の話が聞けてよかった。
- ・みんなが口をそろえて「すごい」と全国大会について話していた。内容は「NHK ホール」のことだったり、「大会」のことだったり、「仲間」のことだったりした。
- ・全国大会に出場しただけのことはあって、とてもためになる話やとても良い作品だった。
- ・最初の方は起きていたけど、先生たちの話が始まったぐらいから眠かったため、できれば大きな音を出したりして、起こした方がいいかもしれない。
- ・色々な部門の審査員の方の話を聞けてよかった。どの部分を見ているのか知れてよかった。
- ・全国大会に行った方の話を聞けたことが良かった。全国大会に出場したい意欲が高まった。
- ・全国大会に行って、どんなことを見て、どんなことを感じたのかがわかってよかったと思います。
- ・審査員から見ての注意とかがわかりやすくよかったが、途中で眠くなったので、生徒を当てるみたいなこともやればいいなと思った。

<午前の部 先生アンケート回答>

- ・情報交換の場として有効でした。どんなことが求められているかを知ることとはとても大事なことだと思います。
- ・今回の企画は良かったと思います。全国大会出場者の「生」の声は大きな影響力を持つと思います。また時期も良かったと思います。できれば、作品鑑賞の本数をもう少し増やしてもらえれば、なお良いのでは。
- ・初めての試みということでしたが、大変良い機会でした。1・2年生は、ますます、「全国」への思いが高まったでしょう。先生方の具体的なご説明と、生徒のみなさんの熱い体験談を聞くことができた後輩の今後に大いに期待します。
- ・朗読のライブや作品鑑賞は全国のレベルがわかり、大変参考になりました。全国大会出場者の報告ですが、高校生には「ぶっつけ」のスピーチは難しかったように思われました。

- ・本当に洗練された朗読に驚きました。アナウンスも聞いてみたかったです。
- ・伊藤先生あのアドバイスが具体的で、8月のこの時期に聞くことができたのはよかった。
- ・メモを取っている生徒が少ないのは残念。こう書いたら近大の平野先生の「メモを書いて」の声が聞こえてきた。さすがプロです。
- ・次年度Nコンに向けて、全国に進まれた大阪の生徒の声を生で聴け、生徒にとっても大きな刺激になったと思います。また、今回の8月開催は、全国大会直後という新鮮さと意識を早い段階で高めるという効果があり、良かったと思います。
- ・陥りやすいミス等、実際にあった事例をもとにお話しいただいたので、注意点がわかりやすかったと思います。受付の開始がわかりづらく、「受付時間になるまでもうしばらくお待ちください」などの紙があれば分かりやすくなると思います。

○午後 放送技術講座

★アナウンス：『原稿！ビフォーアフター』

研究講座…全国大会の準決勝後に行われた講座を視聴します

交流…互いの原稿を“聴き合い”ます

講師 田名瀬さゆり先生（府立桜塚高）、小林咲希さん（甲南女子大）

<午後の部 アナウンス 生徒アンケート回答>

- ・原稿の書き方について教えていただけてすごくよかった。他の学校の人や先生に今書いている原稿を聞いていただいてアドバイスを聞いてよかったです。
- ・発表する勇気が出たときには時間切れだったけど、他校の人々と意見を出し合えてよかった。
- ・原稿の選び方から伝え方まではっきりわかった。 ・すごく緊張しました。
- ・グループを作ることで仲良くなれてよかった。 ・細かく指摘してもらえてよかったです。
- ・同じ高校生同士でお互いの原稿のアドバイスなどをできたので良い経験ができた。

<午後の部 アナウンス 先生アンケート回答>

- ・小林さんお疲れ様でした。「ビフォー、アフター」役立つ情報でした。欲を言えば「ビフォー」以前の作業も知りたい!

★朗読：『プロフェッショナル 読解の流儀』

研究講座…全国大会の準決勝後に行われた講座を視聴します

交流…互いの解釈を“聴き合い”ます

講師 秋本みゆき先生（大阪市立高）、
吉永鈴さん（和歌山大）、村上美宮さん（京都橘大）、
小西麻公さん（京都学園大）、田中優希菜さん（立命館大）

<午後の部 朗読 先生アンケート回答>

- ・面白く参加いたしました。 ・大変有意義でした。 どうもありがとうございました。
- ・一つのテーマに絞り、なおかつ、考える内容になっていたのがよかったです。
- ・NHK アナウンサーの話であっても、ビデオでは頭に入ってくるににくいです。
- ・朗読講座は国語の読解そのもので大変参考になりました。技術以上に「心」が大切だとよくわかりました。
- ・今まで知らなかった朗読に参加しました。一文でも何が大切なのか、どういう場面なのか、どう解釈するのかなど、アナウンスにはない、別の視点を得ることができて楽しかったです。
- ・朗読の「肝」をととてもわかりやすく解説していただきありがとうございました。
- ・2時間半におよぶ長い講義だったので、少し休みを入れていただければありがたかったです。
- ・内容が体系的かつ実践も含まれていて、大変勉強になりました。作品選定の段階から、今回教えていただいたことを指導に生かしていきたいと思います。
- ・朗読への熱意が、先生からも卒業生からも伝わってきました。

★番組：『バングミナダンス』

全国大会作品視聴…番組の構成等について研究します

交流…互いのアレンジを“語り合い”ます

講師 いつもの先生（5人そろって暴走戦隊コーシケン♪）

<午後の部 番組 生徒アンケート回答>

- ・全国レベルの作品が見られて勉強になった。 ・いろいろな作品が見られてよかった。
- ・全国の作品を少しでも見ることができてさらにそれについての先生方のお話もしていただいたのは、これからの部活動においてとても良かったと思います。
- ・初めて参加しましたが、とても楽しかったです。 ・もっと他の番組を見たかった。
- ・いろいろな作品を見たり聞いたりして自分の作りたい番組がなんとなくイメージできたのでよかったです。
- ・過去のおもしろい作品が見られてよかった。いつか今日見たおもしろい作品みたいなのを作ってみたい。
- ・実際の物を見るのは「百聞は一見にしかず」と言うようにとても経験値がっばがっばです。もっとこのような機会が増えると嬉しいです。
- ・自分の想像の枠を超える作品を見ることができて、すごく勉強になりました。
- ・作品を見て、聞いて良い所もここが良くないんじゃないかというところもわかってよかったです。なるほどと思うところも多くありました。
- ・昔の作品とかを見てすごいなと思いました。
- ・いろいろな作品を比較して見ることで、何が良いのかどこが悪いのか、少し理解できた気がします。
- ・昔の作品を見ることができてよい機会だった。時間をかけて作品を作ることの大切さを知りました。
- ・とてもためになる話が聞けてよかったです。初参加だったのでアナ・朗の内容が気になります。
- ・レベルの高い作品に触れることができ、大変勉強になりました。

- ・実際に過去の作品を見てメモして話すという講座の進め方が、より技術を学びやすくよかった。
- ・全国の決勝に行ったものと準決勝までのものを聞き比べたとき、自分たちのものに足りてないものを感じられてよかった。
- ・決勝に残った作品と残らなかった作品の大きな違い。「伝えたいこと(メッセージ性)がわかりやすい。」
- ・ドキュメントの撮り方のコツや注意点、ラジオドラマの流れの話など、勉強になることがめちゃくちゃ多かった。
- ・いろんな作品を知れてよかった。ここで見たり聞いたりしたことを活かしてがんばりたい。
- ・トップレベルの物が聞けてよかった。ドキュメントにもすごく興味が出た。
- ・様々な形式の作品を見たり聞いたりすることが出来て、とても勉強になり良かった。今後の制作に役立てていきたい。
- ・過去のNHKホールで流れた作品をそのまま見られたのは貴重な体験が出来てよかったと思いました。
- ・先生方がこんなことを知ってもらいたいと選んでくださった作品を見て、一人じゃ気づかなかったことも分かって勉強になりました。
- ・過去の作品を見返して、感想を出しあって、共有しあえたことがよかった。

<午後の部 番組 先生アンケート回答>

- ・番組制作におけるヒントをたくさん学ばせていただきました。編集技術も大事ですが、それ以上に相手の心に届ける大目的をもっと意識しないといけないと感じました。構成の工夫、明瞭な音声など、改善できる所はたくさんあると感じました。
- ・完成形が見えてくるような内容で、大変参考になりました。具体的な制作過程についてもご教授頂く機会があれば幸いです。(本校の部員が番組制作に興味を示しておりますが、ノウハウがありませんので)

<その他 生徒アンケート>

- ・(´) ・会場が寒かった。 ・とても楽しかったです!! ・参加できて良かったです。
- ・また行きたいです。 ・他校の人と触れ合うことができて、楽しかったです。
- ・1年生だけで開かれる講座をしてほしいです。 ・良い一日になりました。ありがとうございます。
- ・1・2年アナウンス大会を分けて実施した方がいいのではないかと思います。
- ・もっと時間を作ってください。こんなに楽しくてためになる、いい時間なので。
- ・4分のラジオドラマの作成をしたり、発表したりするのを増やしてほしい。
- ・(私は)2年生です。去年も一年間全ての講座に参加しました。8月に講座があるのはすごくいいと思います。
- ・放送技術講座は、初心者から見たらとてもためになった。ありがとうございます。
- ・もっとこういう技術講座のようなものに参加したいと思った。
- ・毎回、改めて気づかされるのがたくさんあり、良い経験になっています。ありがとうございました。

<その他 先生アンケート>

- ・運営の先生方、お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・卒業生と入念な打ち合わせをしていることが分かった。

- ・本部役員の皆様、いつもありがとうございます。準備も大変だと思います。長時間にわたる講座運営のご苦勞も並々でないと思います。本日のような、コンテスト形式ではない講座は、生徒の集中力、また参加のしやすさも鑑みて、半日程度の回もあればいいなと思います。
- ・いつもご企画ご準備ありがとうございます。今回の講座も、追加募集のお蔭で受講できました。ありがとうございました。
- ・現1年生にも、アナウンスだけでなく朗読の発表の機会があると、自分の今のレベルや、何をしなければいけないのかを気付けると思うので（2年生にとっても）、4月の頭の放送技術講座の時などNコン前に、一度、現1・2年生の朗読大会があると大変ありがたいです。
- ・来年度からは、また、1年生大会を開催していただければ幸いです。よろしく願います。
- ・私自身、アナウンスの世界は素人で、意欲のある生徒に技術的な指導をしてあげられていない辛い現状があります。（その代わり、映像編集の力を活かしながら番組制作に貢献しています。）生徒の自主性を伸ばすとともに、プロによる指導によってインプットを与えていきたいと考えていますので、この技術講座は大変貴重な機会です。

3. 高校生のための放送技術講座（Ⅲ）

参加申込： 24校 生徒 128人

午前) 総論 108人

午後) アナウンス 41人 朗読 50人 番組 34人

日時： 平成29(2017)年11月23日(木・祝) 午前9時00分～午後5時30分

会場： 東海大学附属仰星高等学校(大阪府枚方市桜丘町60-1)

時程： 9:30～10:00 午前の部受付

10:00～10:20 開会式・諸注意・連絡

10:20～12:30 放送技術講座(総論)

13:15～13:30 午後の部受付

13:30～16:00 放送技術講座(アナウンス・朗読・番組)

16:10～16:30 閉会式・連絡

講座：

○午前 「放送技術講座(総論)」(生徒全員)

講師 井村 慎介 先生(関西テレビ放送株式会社 編成局編成部)

内容 高校時代放送部で活躍され、現在は関西テレビで編成の仕事に携わっていらっしゃる井村慎介先生に、高校放送部の「無限の可能性」について熱く語っていただきました。

<生徒アンケート回答>

- ・自分の過去のエピソードも聞かせてもらって、貴重な体験をさせてもらってうれしかったです。
- ・井村先生が話した、「高校放送部で挑戦してほしい10のこと」を実際にやってみようと思った。

- ・高校生である自分たちが何をすべきなのか、どんなことをしたら日々の放送活動が向上するか、を聞いてよかったです。私も日々の生活を見直してみようと思いました。
- ・今度取材するときのヒントになりました。とても参考になりました。編成部など知らないことを聞いて本当に良い時間でした。ありがとうございました。
- ・今後の取材で役立つようなことをたくさん聞けてすごく貴重な時間となりました。またお昼の放送も今までとは違う感じでしていきたいと思いました。
- ・私は番組制作をしたことがありません。でも今日話を聞いてとても楽しそうだなあと思いました。私も同じような体験をしてみたいと思いました。
- ・高校時代に放送部に入っていたことがきっかけで放送に携わる仕事についていることがすごいなと思いました。前半は自己紹介が中心でしたが、後半はとても興味深い内容でした。
- ・番組作成をやってみたくと思った。ぶっつけ本番にこだわって、取材する街の隣町に泊まるのは凄くと思った。
- ・NHK（ニュース企画で育てる、1人が全部やる）、民放（AD修行で学ぶ、細分化されチームでやる）、この2つなら、私はNHKに入ってみたくと思った。
- ・ドキュメンタリー番組を作るとなった時は、ぜひ帝塚山学院に来てください。部員全員がとてもやってみたいと言っています。
- ・インタビューの前に雑談をすることなど、新しいことをたくさん見つけることができました。
- ・後半のお話がとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・放送部の話だけではなく、普段なら聞けないようないろいろなテレビの話が聞けて、聞いていて楽しかったです。実際にドキュメンタリーを作ってみたくと思いました。
- ・「高校放送部で挑戦してほしい10のこと」はとても勉強になったし、これからも部活に生かしていきたいなと思いました。
- ・なかなか聞くことができないプロの方から実際にお話を聞くことができ勉強になりました。テレビドキュメントを作りたいけど、作り方もわからなかったので教えていただけてよかったです。
- ・NHKと民放の違いや、ここでやるべき中のことなどためになる話がたくさん聞けてよかった。いつも見ている番組の裏側の話を聞いて楽しかった。井村先生がおっしゃっていたやるべきことに挑戦してみようと思う。
- ・後半の話はためになることが多かったが、前半の前置きが長く無駄かと思った。
- ・今まで1年勉強していてもまだ知らないことが多く勉強になった。
- ・初めて知ったこと、気づいたことも多く、とても勉強になった。原稿書く意欲が増した。
- ・ドキュメントの作り方にもすごく関心を持った。ぜひとも教えてもらったことを生かしたい。
- ・放送技術講座に参加したのは今回が初めてで、どのようなことを話してくれるのだろうと気になっていました。実際に話を聞いてみると、先生の生い立ちなどからテレビ局の話など詳しく話してくれて、興味を持って聞くことができました。高校生活でやるべき中のことも共感できる部分や「なるほど〜」と思うことがあり、とても有意義な時間となりました。
- ・実際に放送局に勤めている人の話を聞いてとても参考になりました。高校生にやってもらいたい10のことを実践してみたいと思いました。

- ・井村先生のお話は大変興味深く、学ぶところがたくさんありました。私自身受動的に動くタイプなので、今回のお話を聞いて、失敗を恐れずに挑戦していこうと思いました。
- ・ドキュメント番組を作る参考にしようと思った。
- ・今回のNコンで初めて番組を作るので、わからないことが多くて不安だったけれど、気楽に作ろうと思った。
- ・井村先生が実体験を教訓として分かりやすく教えてくださり、これからの参考にしていきたいです。
- ・もう少し長くお話を聞きたかったです。 ・とても興味深い話でした。
- ・実際に放送部から放送の仕事についている人に会えてよかったです。
- ・自分がこれから通っていけばいい道が見えた気がします。何事にもやりたいことに挑戦していきたいと思いました。
- ・ご自分が体験したからこそ、こんなに感情がこもるんだと思うほど、気持ちや語勢から「伝えたい！」という思いがすごく伝わりました。私は次のNコンにドキュメントを出品しようと思っているので、今日の話ぜひ参考にしたいと思います。
- ・ためになることが多かったが、前半をもう少し短く話してほしかった。
- ・まだ私たちの部ではドキュメントに取り組んだことがなく、とても参考になった。
取材やテーマについて、学校らしさだとかとりあえず足を運ぶだとかの固定概念が取り払われ、新しく視野も広がってとても良い機会になった。
- ・ドキュメントに興味があった。 ・ドキュメントが作りたくなった。部室で話してみたいと思う。
- ・新しいやり方などが学べ、面白かった。 ・改めて今しかできないことがあるとわかった。
- ・めちゃくちゃモチベーションがあがった。分かりやすかった。 ・眠かった。(ねてた)
- ・お話を聞いて、放送業界に行ってみたいなと思いました。
- ・今までの経験談がとてもよかったです。 ・裏話もしていただいておもしろかったです。
- ・すみません寝ていました。ですがドキュメンタリーと言う選択肢が身近に感じられたのは確かでした。ありがとうございました。
- ・放送部員としては、これからルーティーンで過ごしていこうかなと思っていましたが、この話を聞いて、ドキュメンタリー番組を作ってみるのも良いかもしれないと思いました。そのためにできることをたくさんこの講演で教えてもらい、頑張ってみたいと思いました。
- ・番組構成の話をもっと聞きたかった。ドキュメント制作への意欲が湧いてきた。
- ・今までは「放送で何をしたいか」と言われると何も言えなかったけれど、今日の講座を聞いて答えられるようになりました。私はあまり番組やドラマに関われていないけれど自分なりに努力して関われるよう頑張りたいという気持ちになりました。
- ・放送部に限る話ではなく人生において大事なことを聞けてよかったです。放送についてもっと意識しながらテレビやラジオを視聴しようと思いました。話を聞き、ドキュメントを作りたいという気持ちを覚えました。
- ・高校生の立場で、聞きたいことがわかりやすくまとめられていたので、聞いていて勉強になりました。
- ・普段聞くことができないことをたくさん聞けたので良い経験になりました。
- ・とてもためになる話だったが、後半詰め込みすぎているのでもう少し時間が欲しかった。

- ・知らなかったこと、自分の改善点が学べた。
- ・高校放送部の大きな可能性がよくわかりました。教えてもらったことを部活で実践しようと思います。
- ・「放送」ということを堅く考えすぎずに、相手（視聴者）に届けることを重視していくことが大事だと思いました。
- ・放送部としてだけでなく、一人のクリエイターとして大切なことをたくさん教えてもらいました。素晴らしい講演だったと思います。
- ・ドキュメンタリー番組を作ったことがなく、どうすればいいのかわからなかったのですが、詳しい作り方のコツなどを教えてもらえたので本当によかったです。
- ・高校放送部は **NHK** に似ているのだなと思いました。テレビの放送の時間帯もちゃんと考えているのだと思いました。番組制作をしたことがなかったけれど一度やってみたいなと思った。
- ・前半は高校や大学卒業後の話が多く、将来のためにはなるものの、N コンの話や、他校の放送部の話を詳しく聞きたかった身としては少し退屈でした。
- ・番組作りは楽しそうだなと思いました。**NHK** と民放の違いもわかったので、私も今後放送部でやったことを将来に活かしていきたいと思います。「高校生の間にやっておきたい10のこと」を明日からでもやっていきたいと思います!!ドキュメンタリー番組を制作する時はぜひ帝塚山学院にお越しください。
- ・先生がやっておられる仕事の話が深くまでわかった。もう少し先生が高校時代に経験した放送の大会での話を聞きたかった。前置きが長い。
- ・先生の放送部愛が強すぎて最後早くてメモが間に合わなかった。自分の好きなことを活かして仕事をしていらっしやって羨ましいなあとと思いました。
- ・とても勉強になりました。先生も放送部に高校生の時に入っていっしょって、その経験をいろいろと語ってくださったことを、これからの私に役立たせたいと思います。より一層放送部でがんばっていききたいと言う気持ちを引きだしてくれました。「高校生活で挑戦してほしい10の事」という大切なことを教えていただきました。早速、次から実践していきたいと思います!
- ・まだ放送部に入ったばかりで、先輩や後輩もいないので、放送関係の事は一切知らなかったのですが、井村先生のお話を聞いてよかったです。
- ・話がちょっとくどくて飽きてしまったが、最後の「10のこと」や、**NHK**・関西テレビでの仕事内容や裏話は面白く、ためになった。
- ・留年して高校生の期間を伸ばそうかな、とってしまいました。
- ・**FM802** を聴いていると言った者です。あの時はラジオが生活の中心となっているため、テレビについて何も思い浮かばなかったのですが言いそびれた意見がありました。それはラジオの延長上で音楽番組をよく見るようになったと言うことです。**LOVE MUSIC**、毎週見えています。すべてすぐくためになる講座でした。今後のためにしっかりと復習します。
- ・私は今までドキュメンタリー番組を作ったことがないので、細かい作り方など聞いて少し興味を持ちました。
- ・とても勉強になりました。今日教えてくださったことを実践してみようと思いました。
- ・普段、聞くことができないテレビ局のことなどを聞くことができてよかったです。

<先生アンケート回答>

- ・漠然とどう取り組んでよいか難しいドキュメント制作をわかりやすく詳しく解説していただきありがとうございました。ドキュメント制作って面白そう！と思いました。「面白い」の着眼点、それを実現するためのメソッドの幹を教えていただけてよかったです。高校生に伝えたいこと、分野は違えど、共有する項目が多かったです。
- ・前半の話より、後半の話「高校生活で挑戦してほしい10のこと」の方が面白くためになったと思うので、そちらのボリューム、時間が多めのほうがよかったです。前半をコンパクトに。
- ・後半のお話をもっと聞きたかった。取材のヒントをたくさんいただいた。
- ・放送への取り組み方や心構えなど、学びのあるとても素晴らしいお話でした。
- ・貴重なお話が聞けてよかったです。
- ・取材の仕方、原稿の書き方についてとても勉強になりました。
- ・龍野高校時代の話はさほど興味を引かなかったが、NHK入社以降の話はワクワクして聞きました。NHK、関テレの番組制作上の違いがよくわかりました。NHKは異動が多くて大変だということも。
- ・具体的な例や体験・経験からの話が多く興味深かった。生徒達にも良い話であったと思う。
- ・放送局というものについて非常にはっきりとしたイメージができました。その構造や仕組みについてだけでなく、社会的な存在意義や使命について考えるきっかけとなりました。また大変勉強になるとともに放送を取り巻く社会現象や問題について興味を持つことができたことも大きな収穫でした。
- ・放送に携わる現場の貴重なお話、大変興味深いお話が聞けた。「生徒への10のメッセージ」も生徒に有意義で素晴らしかった。
- ・テレビの世界の裏話が聞けて面白かったです。「挑戦してほしい10のこと」、生徒たちにぜひやってほしいです。顧問と戦える生徒が増えると面白いのですが。
- ・後半の部分は生徒たちにかなり役立ったと思います。

○午後 放送技術講座

★アナウンス：『取材から原稿作りまで』

講師 井村 慎介 先生（関西テレビ放送株式会社 編成局編成部）

アシスタント 寺澤 穂乃香 さん（関西学院大学1回生）大阪府立豊中高等学校卒業生

第62回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 アナウンス部門出場

第63回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 アナウンス部門入選

第40回全国高等学校総合文化祭 広島大会アナウンス部門審査員特別賞

<アナウンス 生徒アンケート回答>

- ・非常にわかりやすい説明で、学ぶことが多くあり、充実した1日を過ごせました。
- ・アナウンス原稿は作文ではなく、気持ちをそのまま書くもの（じゃない）と分かった。
- ・最後に、自分で原稿書くというコーナーがあり、短時間で書くことがこんなにも難しいとは思いませんでした。

した。みんなのレベルが高すぎてびっくりしました。講座の説明がとても分かりやすかったです。

- ・原稿の書き方がすごくわかりやすく丁寧に説明されていて、これからの原稿作りに役立てたい！
- ・とてもわかりやすく実技の指導もあってよかったです。
- ・取材の方法を知らなかったので、この機会に知れてよかったです。
- ・原稿を書く上でのいろいろな話を聞けたので、今日の話を生かして大会の原稿を作りたいと思いました。
- ・今までわかっていなかったような深い話までしてもらえて、とてもためになりました。これから生かしていきたいと思います。
- ・新しいことを知りました。和気藹々としていて楽しかったです。
- ・原稿の書き方について迷っていて、取材のやり方から教えてもらってよかったです。
- ・まさか原稿書くとは…！緊張しましたが良い経験になりました。
- ・他の人のネタの集め方や原稿が聞けてよかった。NHKのニュース原稿の良いところや取材をするときの注意点など、知らないことをたくさん知ることができた。わかりやすい原稿書くのはすごく難しいと思った。短時間ですごくわかりやすいものを書いている人もいてすごかった。私もできるようになりたい。
- ・今回の技術講座についてのアナウンス原稿を書く機会があり、すぐに原稿を作る大変さを知った。後に添削してくれるので良いと思った。
- ・リード文をしっかり作り、そして映像がなくてもわかるように原稿を書くことを努力しようと思いました。
- ・インタビューの方法を聞くことができとても良かったです。他の方の原稿を聞くことができたのは参考になりました。
- ・アナウンスについてより深く考えることができた。いろんな人の原稿を聞けてよかった。
- ・井村先生と寺澤先生によるアナウンス講座はとてもわかりやすく、楽しく参加することができました。あっという間だったなあと思いました。もっと積極的に参加できたらよかったかなあと思ったので、次も参加して積極的に講座を受けたいです。
- ・原稿の書き方があまりよくわからなかったのですが、今日話を聞いて原稿の書き方や取材の仕方がよくわかりました。今後に活かしていこうと思います。
- ・原稿についてとてもわかりやすく、とても充実した時間が過ごせたと感じました。
- ・原稿作り、取材の仕方について勉強になった。
- ・講師のみなさんの話がとてもためになった。今日話を自分の原稿に取り入れたい。

<アナウンス 先生アンケート回答>

- ・わかりやすく伝えるのに大切なものを顕在化できてよかったです。テーマ選びの重要性は私にとって課題です。(特にジグザグ)
- ・具体的な話が多く、サンプルもあり、生徒作品の読みもあり、最後には即興での原稿作成もあり、生徒たちには良い刺激になったと思う。
- ・双方向の講座で、聞くだけでなく生徒の感じたことを土台にしての解説がわかりやすい。続いて来年度もお願いします。

- ・今日、生徒向けの案内としては本当に素晴らしい先生に来ていただけたと思います。ニュース原稿の視点、まず何をしないといけないかが明確に分かりました。自作ニュースを発表してくれた生徒も原稿を書き上げる上で必要な能力を知るのに参考になったと思います。
- ・どう原稿を書くのか分かってよかったです。他校の原稿を聞いて、レベルが高いことに驚きました。
- ・原稿作成の基本が具体例を通じて非常によく理解できました。特に「切り口」について納得できました。
- ・具体的な例や、体験・経験からの話が多く興味深かった。生徒達にも良い話であったと思う。

★朗読：『第 65 回Nコン朗読部門指定作品抽出箇所の選び方』

講師 鎌田 潤 先生 (茨木高校)、秋本 みゆき 先生 (大阪市立高校)、
次年度Nコン指定作品の傾向と対策を知り、作品選びのポイントを学びます。

- ① 『文鳥・夢十夜』 夏目漱石著 (新潮文庫)
 - ② 『なんとなくな日々』 川上弘美著 (新潮文庫)
 - ③ 『リボン』 小川糸著 (ポプラ文庫)
 - ④ 『賢者の贈りものO・ヘンリー傑作選Ⅰ』 O・ヘンリー著/小川高義訳 (新潮文庫)
 - ⑤ 『土佐日記』 紀貫之
- 注意：電子書籍不可。 ①は平成14年改版以降のものに限る。
①、②、④は収録作品のいずれを選んでも良い。⑤は現代語訳不可、出版社は問わない。
④は平成26年発行以降のものに限る。他の出版社・翻訳者のものは不可。

<朗読 生徒アンケート回答>

- ・今まで朗読について勘違いしていたことがすっきり解けたので、今回この講座に来て良かったと思いました。今回のこの講座を踏まえて練習し、次に出た疑問を解決できるよう第4回に参加したいと思いました。
- ・引用文の扱いに困っていたので、今回の講座で解決できてよかった。
- ・抽出箇所をどうやって選べばいいか迷っていたけれど、講座を聞いて選び方を学びました。講義をしてくださった方の演技(例文の読み分け)がとても上手でした。読み方や本選びについて分からない事をなくしてもらえてよかったです。
- ・朗読の本をまだ決められず、迷っていたので参考になりました。
- ・朗読の何たるかを知ることができました。「伝えること」ことの難しさを知りました。
- ・面白いお話をたくさんしていただきありがとうございます！最後に「おはよう」の実演もあり、すごく楽しかったです。
- ・朗読は相手に伝えるものだということが改めて理解できた講座でした。演技力などいろいろ教えていただいて、とても良い時間を過ごすことができました。
- ・作品選びは朗読するうえでとても重要だということがわかりました。男性と女性では伝えることができるものが違うのだなと思いました。
- ・朗読の大会に活かそうと思った。 ・知らなかったことがたくさん学べた。改善していきたいと思った。
- ・朗読をする上での大事な点がよくわかりました。先生の話がとても面白かったです。

- ・最近朗読の練習を始めたのですが、改善点や指摘する点が分かりませんでした。今回の講座で「理由をつける」というアドバイスももらい参考になりました。
- ・「文章の意味を深く考え、きっちり頭の中でイメージして読む」という朗読の基本を教えてくださいました。
- ・朗読の読み方はどうすればいいのか（棒読みでもダメで演技っぽくてもダメならどうすればいいのか）を知りたかったのでとてもためになりました。
- ・抽出箇所について、たくさん勉強になる話を聞いてよかったです。もっと朗読を頑張ろうという気持ちになりました。
- ・音読と朗読の違いということは知っていましたが、伝えたい相手のことを常に思いながらするのが朗読だということがわかりました。
- ・たくさんのアドバイスをくださって、とてもわかりやすかったです。それらを今後忘れないようにして頑張りたいと思います。
- ・伝える力を養うことが大切だとわかった。
- ・いろいろなことを細かく教えてくださいましてとても勉強になりました。参考にさせていただきます。
- ・朗読とは人の書いた言葉を読むものなので難しいですが、頑張っていきたいです。
- ・資料を見ながらお話をしてくれたので、とてもわかりやすく、資料を家で復習することができそうです。参加できてよかったです。
- ・ちょうど迷い出していた抽出箇所についてのお話を聞いたのでよかった。次の大会に向けての心構えを変えていこうと思った。表現についてのことを聞いたのも嬉しかった。
- ・楽しかった。勉強になった。でも、ちょっと眠かった。
- ・作品選びの際、気をつけるべき点がよくわかった。また、実際に場面を想像してセリフを言うことで、どのような考え方があるのか、どのようにすれば伝わるのか、ということが分かった。
- ・前回、参加させていただいた時の内容（公開個人レッスン）とは違った形態で、作者の状況・聞く人について考えるのが大切であるということがとても伝わり、参考になりました。
- ・抽出箇所について教えていただき、すでに決めていた箇所を違うところにしようと思いました。
- ・NHK コンテストの本選びについて、どの本を選んだらよいかよくわかったし、技術の方も新しいことを知ることができてよかったです。
- ・自分の声質に合った場面を選ぶことを学びました。一つの言葉が、言い方を変えるだけで全く別の印象になることを知ったので、これから表現する時に役立てたいです。

<朗読 先生アンケート回答>

- ・朗読の重要ポイント改めて確認できました。作品を表現するからには「作者を体現しなければならないこと」、「作品を読み込むことが大切であること」、そしてそれらが「聴く人を楽しませるためであること」といった点が翻訳と共通すると思いました。
- ・理論的で有意義な講義でした。書籍の紹介もありがたいです。
- ・具体的な文例や練習の時間が少なかったのが残念でした。

★番組：『編集ソフトの使い方（入門編）』

講師 伴 慎一 先生（今宮工科高校）

Audacity と Sound Engine Free を使ってサンプルデータから簡単な作品を作ります。

<番組 生徒アンケート回答>

- ・部室でやってみたくなくなった。 ・ニュース作り楽しかったです。
- ・楽しかった。いつもの放課後の活動でもこんな風に遊びをしてもいいなと思った。
- ・次は映像をやりたいです。 ・ぜひ次は番組で映像を…！
- ・おもしろかったです。もう少し時間をかけたかった気持ちもあります。楽しかったです！
- ・基本的なことが分かって良かった。楽しかった。
- ・入部したばかりで編集経験が浅いけど、できて良かったです。
- ・とても勉強になりました。これからもやっていきたいと思います。
- ・初めて「番組」の講座に参加させていただきましたが、とても楽しかったです。でも、それと同時に難しかったです。
- ・長時間ディスプレイを見つづけたので気分が悪くなった。
- ・2つの編集ソフトで目が痛くなりましたが、この「ニュースを切ってつなげる」というのは、放課後の暇つぶしにもなると思うので、試してみようと思っています。
- ・時間が足りなかったけど、限られた時間の中でどれだけクオリティのものが作れるかというプレッシャーを感じられて、これからも効率よく進むための意識が生まれたと思う。
- ・動画サイトでアップされているのと似たようなものができ、楽しかった。
- ・基礎的な技術を学べてよかった。手早く編集ができるようになっていきたい。
- ・とてもたのしく学べた。時間配分は大切だと思った。
- ・パソコン操作に慣れておらず、心配でしたが、楽しく基礎を学ぶことができました。今後の部活に生かしていきたいです。
- ・編集は難しいものですね…（笑） ・とても参考になりました。
- ・編集するのは楽しかったです。部活で使うソフトしか使ったことがなかったので。
- ・いつもエディウスなので使い方が難しかったです。

<番組 先生アンケート回答>

- ・音声編集する機会はあまりないのでおもしろかった。
- ・実際に番組作りの基礎である音声編集を体験させていただき、今後の編集に役立てられるスキルを身に付けることができました。分かりやすく丁寧にご指導くださり、ありがとうございます。

<その他 生徒アンケート回答>

- ・どうすれば原稿を上手く素早くかけますか？
- ・実際に放送局で働いている人の話を聞ける機会はなかなかないから、今日お話を聞いて良かったです。

- ・個別に先生方に見てもらえる時間が欲しい。(アナウンス)
- ・講師の方、アシスタントの寺澤さんの話がとてもわかりやすく、話を聞いていて楽しかったです。
- ・午前のような講座をいくつか聞いてみたいです。(引退までにやっておいた方がいい事等)
- ・編集楽しかったです。
- ・おもしろいものってどうしたらつくれますか？
- ・こういう講座をこれからも開いてほしいです。有名人から「ためになる話」を聴きたいです。
- ・これからの励みになりました。
- ・とても勉強になったので、またこのような講座を開いてほしいです。
- ・言われたことをしっかりやっていきたいと思いました。
- ・鎌田先生のスーツがかっこよすぎ。

<その他 先生アンケート回答>

- ・高校に入ってから会場までの案内があまりなく、わかりづらかった。
- ・ホールが素晴らしかった。うらやましい。
- ・参加者が感想や意見を講師の先生とともに意見や感想質問を積極的に混ぜるような者の状況設定ができればさらに充実した会にできるのでは、と思います。(例えば小グループに分かれてラウンドテーブルディスカッションするなど)
- ・前半後半ともに10分程度のトイレ休憩を1度ずつ欲しいです。
- ・いつも以上に生徒に役立ったと思います。

4. 高校生のための放送技術講座 (IV)

日 時：平成30(2018)年1月28日(日)

参加申込： 27校 生徒 141人

午前) アナウンス大会 87人 ラジオドラマ 16作品

午後) アナウンス・朗読 102(生徒) + 21(顧問) = 123人

番組： 38(生徒) + 13(顧問) = 51人

時 程： 09:30~10:00 午前の部受付 ※ アナウンス発表大会の原稿の提出も含む

10:00~10:20 開会式・諸注意・連絡

10:20~12:30 アナウンス発表大会・番組大会

13:15~13:30 午後の部受付

13:30~16:00 放送技術講座(アナウンス・朗読、番組)

16:10~16:30 閉会式・表彰・連絡

○アナウンス発表大会

内容：自作の校内ニュース(原稿は1分10秒~1分25秒、発表する本人のオリジナル)を発表した。

NHK杯コンテストの大阪予選で実際に使用する機器を使い、規定もコンテストと同様に行った。

先生方で審査を行い、上位者(A評価)には優秀賞を授与した。会場別の各評価の人数は次の通り

A会場 (エントリー44人)・・・A 8人、B 24人、C 8人、欠席4人

B会場 (エントリー43人)・・・A 8人、B 19人、C 8人、欠席8人

優秀賞 (A評価 各会場エントリー番号順)

A会場		B会場	
学校	名前	学校	名前
四天王寺	伊勢 志歩	市立南	中道 理子
四天王寺学園	鈴木 涼平	箕面	山野 里緒
市立南	山口 美咲	箕面	大塚 勇輝
桃山学院	上田 龍二	夕陽丘学園	山村 佳奈江
東海大仰星	重枝 希呼	東海大仰星	井上 舞袖
市立南	河内 七夏	天王寺	一ノ瀬 萌
四天王寺	高見 瑠莉香	堺西	上西 里奈
帝塚山学院	西山 香奈子	箕面自由	亀田 健斗

以上 16人

(生徒感想)

- ・たくさんの人の様々な読みを聞くことができとても勉強になりました。
- ・初めてのアナウンス大会は緊張しました。みんなとても上手でした。参考になりました。
- ・それぞれの読み方があり、伝えることに対しての話し方等にためになった。「聴く側」での時間がたくさんあったことから、人が話している声を冷静に聞けた。
- ・今年度の6月のNコンにも参加したのですが、今回の方が緊張したように感じた。しっかり準備をして次のNコンに備えたいです。
- ・他の人のアナウンスを見られてよかったです。 ・初めての大会で緊張した。
- ・アナウンスをするのは初めてで原稿書くのが一番難しかったです。正直、1年生だけの大会がよかったです。
- ・1年生でも上手い人が多くてびっくりした。自分の実力を知ることができた。
- ・大会は初めての事だったので、すごく緊張しました。何度やっても緊張するとは思いますが…。
- ・普段は朗読でNコンに参加しているので、アナウンスをやるのは技術講座のアナウンス大会の時ぐらいです。ですが、このアナウンス大会を行ってもらうことで、自分で考え、自分で取材をし、原稿作り、練習するという一通りのことができるのはこれからの為にもなるし、「人に伝えることの基本」を繰り返し学ぶことができるからよかったです。
- ・大会に慣れていない人にとってすごく良かったと思います。またやってほしいです。
- ・みんな上手でびっくりしました。やっぱり全体的に見ると2年生はさすがですね。
- ・緊張しました。 ・アナウンスについて知る機会を得られてよかった。
- ・他の人の読みをたくさん聞けてよかったです。 ・自分の声を見直す良い機会になりました。
- ・ストップウォッチの電子音が朗読中に鳴っているのを何度か見かけて気になりました。
- ・緊張した。イントネーションは良い感じだったが滑舌に甘さが残った。

- ・他の学校の生徒さんや2年生の先輩のアナウンスも聞くことができ、とても勉強になりました。ですが1年生と2年生の教室（会場？）は分けるべきだと思います。
- ・会場が寒かった。空気が凍り付いていて怖かった。
- ・実際に出場させていただきました。Nコン予選を半年ぶりに経験できた気がします。緊張感もいい感じでよかったです。
- ・NHK杯の予選と同じ環境で臨むことができたのが予行練習にもなってよかったです。
- ・A会場のアナウンスをすべて聞き、学べたことが多くあった。自分の発表の時は凄く緊張したけれど、全力で頑張れた。
- ・先輩方から「声を明るくしろ」と言われていたので、1～2週間ほど口角をあげたり笑顔で読んだりする練習をしました。本番では声あまり出ていないような気がしました。最後の部分で失敗してしまい、心にモヤモヤした感じが残ってしまいました。
- ・めっちゃ緊張した。でもNコンの前にこういうプレ大会できるのはありがたいです。
- ・楽しかったです。 ・練習より上手に話せませんでした。
- ・自分の声が聞けないのは、やはり難しかった。
- ・今まで朗読をずっとしてきましたので初めてアナウンスをしました。朗読とはまた違った雰囲気緊張しました。また機会があればぜひ出場したいです。
- ・少しずつ自分の順番に近づくたびに緊張がとても高まりました。ですがマイクの前に立った時に緊張がなくなり練習どおりすらすらと読めました。
- ・久々の大会で緊張しました。自分の練習不足を自覚することができました。
- ・どこの高校も上手で、みんなの発表を聞いて、自分をもっと上手になりたいと思いました。
- ・緊張もありましたが、2年目なので、原稿読みには余裕を持つことができました。個人的には至らない点もありましたが、しっかりとできたので良かったと思いました。
- ・緊張しましたが自分のやるべきことを出し切れたと思うのでよかったです。
- ・とても上手な方がたくさんいました。
- ・とても緊張して、いつもより読む速さが早くなってしまいました。
- ・初めての大会でとても緊張しました。少し嘔んでしまったり詰まってしまったりしました。次はそのようなことがないようにがんばります。
- ・緊張しました。他の人のアナウンスが聞いて勉強になりました。

(先生感想)

- ・生徒のアナウンスを聞いていると、自分の中でも、何に違和感を感じているのか、それはどんなところなのかを知る良い機会になりました。自分の耳を鍛える良い機会になりました。
- ・発声やマイクの使い方は良いのに内容がいまひとつ、という場合の点数のつけ方が難しかったです。総合的に判断して、ということだと思うのですが、どちらに重きを置くのか迷いました。でもとても勉強になりました。
- ・参加生徒の多さから、大阪の勢いを感じました。まだまだ発展途上の生徒が多いとも感じました。

- ・初めてだったので戸惑いました。講評、書けませんでした。すみません。
- ・本校はもともとアナウンスで挑戦する生徒が少ないので私自身も指導の仕方がよく分かっていなかったのですが今回いくつかヒントをいただけたように思います。
- ・まだまだ全体がアナウンス調の話し方さえわかっていないように感じられた。各校で30個ずつのアナウンス文の追い読みをするなどして、平均的な底上げをするべきだと感じられた。
- ・放送の審査基準を知り、良い放送を聞くことが大切。放送を知っている先生がいる学校がやはり強いので、放送を知っている先生を増やすことが大阪の放送レベルアップにつながると思います。そういう理由で全員審査員にしてしまう今日のシステムは大変良かったと思います。
- ・初めての公開審査でしたが、昨年12月の全国指導者研修で学んだ審査のポイントを実践で試すことができ、とても貴重な経験になりました。

○番組・ラジオドラマコンテスト

内容：今回のために作成したオリジナル作品を発表した。

先生方で審査を行い、上位者には優秀賞を授与した。

エントリーは16作品、優秀賞受賞作品は以下の5作品である。

学校	名前
布施	われらオカルト研究同好会
箕面自由	傀儡
箕面自由	b i t t e r
成美	追って焦らされ大やけど
相愛	わんちゃん

(生徒感想)

- ・楽しかったです。 ・大変勉強になりました。 ・他校の作品が見れてよかった。
- ・他の高校のラジドラが聞けてよかった。 ・いろんな作品があり、刺激を受けた。
- ・こういう大会が何回もあればいいなと思います。 ・緊張しました。
- ・4分という短い時間のはずなのに、他校はすばらしい作品が出てきて大変驚いた。
- ・良い作品が多くて差を感じた。 ・BGMの使い方が勉強になった。
- ・レベルが違いすぎる…いや違う。俺たちのレベルが低いのか。そんな風に考えてしまいます。
- ・いろいろなラジオドラマを見れて参考になった。
- ・アナウンス大会は個人的に悔いの残る結果でしたが、番組大会では新しい視点に会うことができ楽しかったです。
- ・ギャグ調のものが多めで聞いていて楽しかった。それ以外の作品も伝えたいことがわかった。4分で番組を作るのは難しかった。
- ・自分の学校の生徒作品と他の学校を比べると内容、声、BGMとSE全てにおいて欠けている点がたくさんあると思った。

(先生感想)

- ・審査員によって評価が分かれたところ、どのように評価していたか聞いてみたかったです。
- ・「リード」や「フライパン」使い方がみんな違ってこういう考え方もあるのだと参考になりました。

○放送技術講座

6月に実施される『第65回NHK杯全国高校放送コンテスト』へ向けての技術講座です。

12月に東京で行われた指導者講習会に参加した先生方による伝達講習(模擬審査を含む)を行いました。

★アナウンス・朗読

講師：竹中泰子先生(相愛高校) 平野賢一先生(近畿大学附属高校)

廣津麻美先生(緑涼高校) 秋本みゆき先生(大阪市立高校)

アナウンス模擬審査、朗読模擬審査、グループ討議、生徒交流、顧問交流

(生徒感想)

- ・アナウンスや朗読の自分の意識していないところをたくさん気づかされました。とても勉強になりました。
- ・勉強になりました！他校の放送部の人と話せてよかったです！楽しかったです！良い経験になりました。
- ・他の人の意見を聞くことができ、同時に自分視点の考えを見つめ直すことができました。
- ・模擬審査や原稿抽出など良い経験をたくさんできてよかった。NHKのアナウンサーの意見も聞けてよかったです。講師の方々ありがとうございます。
- ・審査をするのは初めてで新鮮でした。 ・実際に審査してみて勉強になりました。
- ・他校の人と話し合うことにより、いろいろな意見が聞けた。決勝の読みとアナウンサーの意見を聞くのをこれからも講座でやって欲しい。
- ・グループ行動が魅力的。普段関わりづらい他校と交流することがしやすくてよかったです。
- ・普段学校同士あまり交流がなかったので、今回の講座で他校との関わりがあってとても良かったです。
- ・「何を伝えたいのか」ということについて深く考えることができました。
- ・審査って難しいです。朗読の評価基準が本当にわからない。 ・知らなかったことを学べた。
- ・今まで朗読にしか触れてこなかったが、アナウンスの大事さもよくわかった。
- ・他校さんとの交流の機会が普段よりも多く設けられていて、いろいろ刺激をもらえてよかったです。
- ・アナウンス・朗読の審査するのがとても勉強になりました。
- ・知らなかったことがたくさん知れてよかったです。原稿は、とりあえずまとめるだけではいけないのだと自覚した。
- ・普段の練習でも聴き合いはしているのですが、採点基準に基づいて、ということはしていないのでとても参考になりました。他の人の意見も聞けて、新しい目線で聞けたと思います。
- ・普段はなかなかできない他校の放送部の方々との交流ができて楽しかったです。またアナウンスや朗読のポイントなど、得るものが多かったです。
- ・「伝える」ということの大切さがわかった気がします。あと他校さんとのつながりも楽しかったです。
- ・色々な人と関わることができて楽しかったです。 ・「なるほど」と思う話が聞けてよかったです。

- ・とてもためになりました。ありがとうございました。 ・すぐためになりました。
- ・他校の高校生との関わりを持つことでより良い関係を築けました。自分の言いたいことも発言できたのでよかったです。
- ・内容について詳しく知ることができて、とても参考になりよかったです。
- ・とてもわかりやすく、生徒のたを思って作られているなと思った。
- ・模擬審査は難しかったです。「伝える」ということは、やはり大事です。
- ・グループワークのおかげで他の人の違う意見を知ることができ、良い経験になりました。
- ・グループワークで初めて会った人だけど、たくさん話し合いができてよかった。
- ・模擬審査は、実際にどこを選ぶべきかがわかってよかったと思いました。
- ・点数（採点？）、抽出を、班活動、それも他校の方とできてとても有意義な時間になった。アナウンスと朗読が合同なもの面白かった。
- ・具体的な例を用いてお話を聞くことができたので、とてもわかりやすかったです。
- ・すぐ勉強になりました。グループワークを通して他校の皆さんとコミュニケーションができて楽しかったです。
- ・他校の皆さんと意見を出し合い、たくさん学ぶこともあったので、とても勉強になりました。
- ・うまい人の作品を聞くことができてよかった。
- ・（班活動では）初対面だったけれど、いろいろな意見が聞けて楽しかった。同期や先輩方と交流できて嬉しかった。
- ・リーダーだったので緊張したけれど、みんながちゃんと話してくれてよかった。アナウンスのよし悪しや他人の原稿を開けて参考にしようと思った。普段朗読をしないから、実際に朗読を聞けて、また他校の生徒と交流ができて楽しかった。
- ・いつもはしない朗読のこともやったのでためになった。 ・伝えることの大切さを学びました。
- ・他の学校の人たちと意見を交換することができてよかったと思います。
- ・他校の人、違う学年の人と交流できてよかった。また金野アナウンサーのコメントから、どういう点に気をつければ良いのかわかった。午前中の大会で上手だなと思った人と交流ができてうれしかった。
- ・新しく知ることが多くありました。
- ・アナウンスも朗読も、どちらも伝えることが大事なので誰かに常に聞いてもらえるような環境にしたいと思いました。
- ・全国レベルのアナウンスや朗読を聞けてよかったです。点数をつけたりコメントを考えたりして面白かったです。グループという試みもよかったです。
- ・初めて審査をしました。なかなか難しく、知らないことがたくさんあるなと思いました。
- ・アナウンスもドキュメントと同じで取材量が最後はものを言うんだなと思いました。
- ・アナウンスは取材の量を多くし、それをうまく使って表現すること（が大事）。朗読はセリフ風景信条など自分に合うものを選択すること（が大事だとわかった。）。
- ・他校の人の活動状況がわかってよかった。実際の朗読やアナウンスを聞いて学ぶことは良いことだと思った。

(先生感想)

- ・ワークショップのような形式で、飽きずにアクティブに参加させてもらい、ためになりました。ありがとうございました。
- ・準備等大変だったと思います。学びの多い会でした。ありがとうございました。
- ・非常にためになりました。 ・役に立ちました。
- ・何を審査で見ているのか、気にするのかがはっきりわかりました。とても良い機会だったと思います。
- ・原稿作成のポイントが具体的でよくわかった。金野アナの生の声での読みが大変参考になった。
- ・大変興味深かったです。 ・人によって感じ方が違うことが改めてわかりました。
- ・全国レベルのものの聞き分けはまだ早いと思われる生徒が多い現状では、前々回くらいに行われた原稿の作成段階からが面白いと思われました。(第2回講座 原稿ビフォーアフター)
- ・教員も話し合えと言われ、ぎゅうぎゅうに詰められた割に仕切る人がおらず、全員無口。こういう場では指名されたファシリテーターがきちんと役目を果たして欲しい。生徒たちは積極的に話し合っている様子だったので頼もしく感じた。根拠を添える、抜けている場合は聞き手が聞き、それを引き出す様が「原稿作り慣れ」「取材作り慣れ」しているなど感じられた。大人同士もっと喋りたかった。そもそも口を開く気配もなく、ただ時間が過ぎるのを待っている大人が多すぎる。(自分もそのうちの一人であった気もする。)

★番組

講師：阪本 先生(桃山学院高校) 酒井学先生(堺西高校)

番組の模擬審査、ラジオドキュメントについて、審査部から。

(生徒感想)

- ・模擬審査楽しかったです。 ・先生の話がすごく分かりやすかった。
- ・Nコン準決勝の作品の完成度におどろき、違いを見せつけられた。そして、4Kを大切にこれから活動が続けたいと思った。
- ・楽しかったです。 ・とても勉強になりました。 ・いろんな話が聞けたのでよかった。
- ・ドキュメントを作りたいと思った。材料が多い作品の方が面白さが多いように感じた。
- ・おもしろかった。 ・製作の指針ができてよかった。 ・いろいろな作品が見たい。
- ・面白い話やためになることがたくさん知れて(教えてもらって)よかったです。
- ・優勝作品との差がよく分かった。 ・一日一日が大切なんだなと思った。
- ・大会に出たような作品を見てよかった。他の高校の人と交流できてよかった。
- ・模擬審査もできて良い経験になりました。 ・有名なドラマやドキュメントを見て楽しかった。

(先生感想)

- ・番組審査のポイントが知れてとても勉強になりました。ありがとうございました。

(その他 生徒感想)

- ・書類は参加者の机に最初から置いておけばどうでしょうか。また班が分かりづらかったので紙を貼っておくなどの工夫が欲しいです。
- ・次回からもこのように意見交換の場が長くあればいいなと思います。
- ・新鮮な雰囲気での交流ができた。 ・ 食堂のご飯がとてもおいしかったです。
- ・金剛高校の学食がめちゃおいしかった。 ・ 1年生だけの大会を用意してほしいです。
- ・他校の方と同じグループになっても、今後話すことがないのでさらに機会があると助かります。
- ・時間が足りないですね。 ・ 前よりも深く話げできた。アナウンス朗読について詳しく学べた。
- ・他校との交流ができて良かったと思います。 ・ 食堂のご飯がおいしかった。
- ・また来たいと思いました。 ・ 今回の技術講座でたくさん学べたことがありました。
- ・ありがとうございました。お世話になりました。
- ・アナウンス大会だけでなく朗読大会も開いてほしいです。
- ・放送部はNコンぐらいしか大会がないので、実力をクラブのみんなと発揮できるとも良い機会なので来年も開催してほしいです。
- ・アナウンスを始めてしてきて良い経験になりました。 ・ 食堂が寒かったです。
- ・もう少しグループ分けをわかりやすくしてほしいです。 ・ 自分の欠点が見つかってよかったです。
- ・来年も番組大会をやって欲しい。 ・ CUE シートの書き方を学びました。
- ・金剛高校さんありがとうございました。また4分のラジドラをやってみたいです。
- ・来年も番組をやってほしいです。リベンジをしたいと思います。
- ・過去の作品を聴けて良かったです。モチベーションが上がりました。
- ・次回からアンケートも冊子の中に入れて欲しいです。
- ・ラジオドラマを作るのは良い練習になったので続けてほしい。
- ・番組作りはとてもためになったが、もう少し早い時期に開催していただきたいかったです。
- ・番組コンテストをしていただいたおかげで番組の作り方が分かったのでよかったです。
- ・これからもラジドラをするべきだと思います。ドキュメントの大会もしてほしいです。
- ・作品の大会がよかったです。もっと増やしてくれたらうれしい。
- ・欲深いですが、フリーのNHKの素材とかもう少し増えたりしませんか？
- ・こういう制限付きの大会はいいと思う。
- ・いろいろな人に言えることですが、とてもいい人たちだと思いました。

(その他 先生感想)

- ・運営お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・一貫して「伝える」ことの大切さを教えていただきましたが、果たして今の高校生が「伝えたい」とどれほど思っているのか。伝えるための工夫ツールは豊かでも情熱がなければ伝わらない。子ども達を見ると「伝え切れないのをよしとする」「伝えるのが怖い」と思っているように感じる。そもそもそこから意識改革する必要があるのであるのかもしれない。

- ・運営お疲れ様でした。ただただ頭の下がる思いです。
- ・回を重ねるごとにとても良い講座だと実感しました。 ・番組はするべきだと思います。
- ・アナウンスにおいては全体的に生徒の練習量が少ないように考えます。特に基礎的なアクセントもできていないので、日々の基礎練習が不可欠だと思います。アナウンス審査は7人の点を足しているだけで決めて大丈夫でしょうか？主審のウェイトを高くするなど（別の方法を考えて）は？特に上位8人はもう一度審査した方がいい。

(大阪府立桜塚高等学校 田名瀬さゆり)

<放送コンテスト関係>

第64回 NHK 杯全国高校放送コンテスト大阪大会報告

放送コンテスト委員会

表題の大会の予選を平成29(2017)年6月4日に大阪緑涼高等学校で、決勝を6月18日に大阪市立青少年センター(コプラザ)で決勝が行われました。それについて、報告をします。

予選 参加校(エントリー) 58校 386名(作品) [内訳はあとの表1参照]

ここから 53校 95名(作品)が決勝に進出

審査員 [あとの表2参照]

決勝

[アナウンス決勝課題]

「海遊館」では、ペンギンが産卵の季節を迎え、親鳥が卵を温める愛らしい姿が見られるようになりまし
た。「海遊館」は、南大西洋のフォークランド諸島などに生息している「ミナミイワトビペンギン」や「ジ
ェンツーペンギン」など、あわせて60羽を超えるペンギンを飼育しています。今年も産卵の時期を迎え、
これまでに12のペアから合わせて15個の卵が生まれ、親鳥が交代で卵を温める姿を見ることができま
す。親鳥がうまく温めることができない卵は「ふ卵器」に入れて人工的にふ化させるということです。ペ
ンギンの飼育が担当の小林由和(こばやしよしかず)さんは「間もなくヒナがかえります。愛らしい赤ち
ゃんの姿を見てもらえるように頑張ります」と話していました。

[朗読決勝課題]

「誰や」

「菊岡幸善（きくおかこうぜん）さんとこの若いお弟子さんです。親御さんが御一緒ですわ。

先達（せんだつ）てお約束の方ですわ」

言葉尻を上げて、新聞は断らせまいとしているのだ。

「唄を聴け云うんやろが。通し」

(有吉佐和子「地唄」)

[審査員<敬称略>]

<アナウンス・朗読部門>

中村 宏 (NHK大阪アナウンサー)、秋本みゆき (高視研役員：大阪市立南高校高校)、

鎌田 潤 (大阪府立茨木高校)、田名瀬さゆり (高視研役員：大阪府立桜塚高校)、

平野賢一 (高視研役員：近畿大学附属高校)、松田朋子 (大阪府立みどり清朋高校)、

安田知博 (放送部インストラクター) 計時担当：廣津麻美 (高視研役員：大阪緑涼高校)

<番組制作部門>

竹下健一郎 (NHK大阪放送局制作部デスク)、岩崎判二 (高視研会長：大阪府立桃谷高校校長)、

緒方 稔 (高視研役員：大阪府立桃谷高校)、瓦林 朗 (高視研役員：東海大学付属仰星高校)、

佐々木孝夫 (高視研役員・芸文連役員：大阪府立摂津高校)、

戸野佑亮 (高視研役員：大阪府立槻の木高校)、水谷邦孝 (大阪市立鶴見商業高校)

計時・著作権処理確認担当：伴 慎一 (高視研役員：大阪府立今宮工科高校)

決勝の結果は表3に示します。(全国大会での結果も加えています。)

今年度の特徴として、①今回も参加校が50校を超えたこと(前回55校)、②今回も朗読のエントリーが200名を超えたこと(前回234名)、③研究発表に11発表のエントリーがあったこと(前回6)があげられます。

①について、今回は58校でした。少しずつですが、参加校も増えてきています。何年かぶりにエントリーされた学校もありました。少しずつでもエントリー校が増えていけば、もっと盛り上がるのではと考えています。100校超えますと、その次の年は全国大会には2倍エントリーできます。2020年に行われる第67回大会の全国大会は関西(兵庫県)での開催です。そこまでに、大阪としても参加者増なども含めて意識していきたいところです。

②について、前回と同様の対応をしました。以下の3点です。

(1) 決勝での発表順序をアナウンス→朗読にする。

(2) アナウンスの決勝課題を、当日発表から2日前にホームページ上での発表に変更する。

(3) 朗読の決勝課題を短くする。

表1 第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 参加状況一覧

受付 番号	学校名	略称	代表顧問	参加 人数	研究発表会			アナウンス			朗 読			
					参加	決勝	代表	参加	決勝	代表	参加	決勝	代表	
1	大阪市立鶴見商業	鶴見商	水谷 邦孝	5										
2	宣真	宣 真	清水 明澄	7				7	2					
3	箕面学園	箕面学	西尾 健佑	1										
4	府立港	港	中谷 由佳	3							3			
5	アサンブション国際	アサ国	長谷 智美	7				1	1	1	6			
6	大阪国際大和田	大和田	北村 円	1							1			
7	大阪市立南	市立南	松井 かをり	16				1	1		14	9	2	
8	四天王寺学園	四天王	伊藤 元也	3							3	1	1	
9	府立みどり清朋	みどり	松田 朋子	2							2			
10	府立天王寺	天王寺	我那覇 剛	4				1	1	1	3	1		
11	常翔学園	常 翔	常盤 幸利	5				1			2			
12	大阪夕陽丘学園	夕陽学	中井 勝久	6				3	1	1	1			
13	四天王寺	四 天	西田 康二	32	1			6	3	1	25	11		
14	府立池田	池 田	大島 芳明	10										
15	府立成美	成 美	浜田 佳樹	5	2			5	3	1				
16	大阪信愛女学院	信愛女	島 敏	5							5			
17	府立登美丘	登美丘	池田 静	2							2			
18	大阪学芸	学 芸	榎並 徳次	7							7			
19	相愛	相 愛	竹中 泰子	9	1	1	1	1	1		8	1	1	
20	府立藤井寺支援	藤井支	中原 早穂	1							1			
21	大阪商業大学	大商大	佐護 高輔	4							4			
22	府立豊中	豊 中	南川 郁夫	4							4			
23	府立富田林	富田林	真野 敏子	3				2			1			
24	近大附属	近大附	大嶋 直樹	15				1	1		2			
25	府立高槻北	高槻北	安田 正彦	2							1			
26	帝塚山学院	帝塚山	谷 典子	9				1	1		8	4		
27	大阪緑涼	緑 涼	廣津 麻美	7				1			6	2		
28	プール学院	プール	勝見 昌浩	7				3			4	1		
29	府立今宮工科	今宮工	伴 慎一	6	1									
30	大阪市立	大市立	秋本 みゆき	1							1			
31	府立布施	布 施	久下 哲也	2					1					
32	府立箕面	箕 面	谷本 靖久	6					6	2				
33	箕面自由学園	箕面自	藏野 豊彦	17					3		14	2		
34	大阪市立生野工業	生野工	飯田 茂雄	4							4			
35	大阪市立西	市立西	前川 佳規	1							1			
36	浪速	浪 速	山本 武彦	23	1			10			8	1		
37	大阪市立汎愛	汎 愛	兵部 喜久雄	1							1			
38	関西大倉	大 倉	三輪 淳司	11				3	1		2			
39	府立春日丘	春日丘	吉新 聖二	1					1	1				
40	大阪貿易学院開明	開 明	鈴木 徹	5							4			
41	府立旭	旭	荒木 俊光	11	2			1			10	2	1	
42	府立槻の木	槻の木	戸野 佑亮	9	1	1		3			6			
43	欠番)													
44	梅花	梅 花	池田 正道	13				1			12	2		
45	府立今宮	今 宮	木村 和男	8							8			
46	府立緑風冠	緑風冠	江西 真弓	5							5			
47	府立堺西	堺 西	酒井 学	12				1			7	2		
48	金光大阪	金 光	矢口 奈々	2							2			
49	府立茨木	茨 木	植木 大輔	1				1						
50	府立金剛	金 剛	小畑 敦彦	12	1	1	1	1	1		2			
51	桃山学院	桃 山	阪本 純治	30							20	3	1	
52	府立茨木西	茨木西	小西 亨	2					2					
53	英真学園	英 真	古川 尚美	1							1			
54	大阪スクールオブミュージック	OSM	田中 涼子	5							6	2		
55	府立和泉総合	和泉総	松尾 昌幸	4										
56	阪南大学	阪南大	藤田 大輔	6							6	1		
57	東海大付属仰星	仰 星	瓦林 朗	10	1	1		8	5	1	1			
58	府立洪谷	洪 谷	山本 博史	2										
	学校数					9	4	2	29	14	6	44	16	5
	総数	40		393	11	4	2	77	24	6	234	45	6	

ラジオキョメ			TVキョメ			ラジオドラマ			TVドラマ			合計			受付 番号	学校名
参加	決勝	代表	参加	決勝	代表	参加	決勝	代表	参加	決勝	代表	参加	決勝	代表		
			1	1								1	1		1 大阪市立鶴見商業	
												7	2		2 宣真	
									1	1		1	1		3 箕面学園	
												3			4 府立港	
												7	1	1	5 アサンブション国際	
												1			6 大阪国際大和田	
												15	10	2	7 大阪市立南	
												3	1	1	8 四天王寺学園	
												2			9 府立みどり清朋	
												4	2	1	10 府立天王寺	
							3			1		7			11 常翔学園	
1	1					1	1					6	3	1	12 大阪夕陽丘学園	
3	1	1				3						38	15	2	13 四天王寺	
						1						1			14 府立池田	
2	1		1	1	1	4			1	1	1	15	6	3	15 府立成美	
												5			16 大阪信愛女学院	
												2			17 府立登美丘	
												7			18 大阪学芸	
												10	3	2	19 相愛	
												1			20 府立藤井寺支援	
												4			21 大阪商業大学	
												4			22 府立豊中	
												3			23 府立富田林	
1	1	1				1						5	2	1	24 近大附属	
												1			25 府立高槻北	
												9	5		26 帝塚山学院	
												7	2		27 大阪緑涼	
												7	1		28 ブール学院	
						2						3			29 府立今宮工科	
												1			30 大阪市立	
1												2			31 府立布施	
2									1			9	2		32 府立箕面	
2	1	1	2	2	1	3	2	1	2	1	1	26	8	4	33 箕面自由学園	
												4			34 大阪市立生野工業	
												1			35 大阪市立西	
						1						20	1		36 浪速	
												1			37 大阪市立汎愛	
						2			1			8	1		38 関西大倉	
												1	1		39 府立春日丘	
						1						5			40 大阪貿易学院開明	
						1			1			15	2	1	41 府立旭	
						3	2	1				13	3	1	42 府立槻の木	
												0			43 (欠番)	
												13	2		44 梅花	
						1						9			45 府立今宮	
												5			46 府立緑風冠	
			1	1	1							9	3	1	47 府立堺西	
												2			48 金光大阪	
												1			49 府立茨木	
1	1	1	1	1	1	2			1			9	3	3	50 府立金剛	
						2	1		1			23	4	1	51 桃山学院	
												2			52 府立茨木西	
												1			53 英真学園	
												6	2		54 大阪スクールオブミュージック	
						1						1			55 府立和泉総合	
												6	1		56 阪南大学	
			1			1			1	1		13	7	1	57 東海大付属仰星	
												1			58 府立洪谷	
8	6	4	6	5	4	18	4	2	10	4	2	57	29	16		
13	6	4	7	6	4	33	6	2	11	4	2	386	95	126		

表2 第64回 NHK杯 大阪予選 審査員及び運営スタッフ一覧

	アナウンス		朗読1		朗読2		朗読3	
		所属		所属		所属		所属
審査員	主審	田名瀬 府桜塚	秋本	大阪市立	平野	近畿大附	内野	プール
	計時	西川 浪速	荒木	府旭	山本	府渋谷	河野	府金剛
		安藤 相愛	阿部	東海仰星	坂尾	府旭	島	信愛女
		池田 府登美丘	伊藤	四天学	竹中	相愛	松田	府みどり
		勝見 プール	佐分利	府みどり	谷本	府箕面	真野	府富田林
		堀 宣真	谷	帝塚山	長谷	被昇天	山本	浪速
会場		江西 府緑風冠	池田	梅花	大塚	金光	我那覇	府天王寺
		高坂 府旭	飯田	市生野工	木村	府今宮	北村	国際大和田
		鈴木 開明	植木	府茨木	中谷	府港	小西	府茨木西
		辻 府槻の木	佐薙	箕面自	姫路	府西成	住川	四天王寺
		中原 府藤井寺支	田中	OSM	古川	英真	南川	府豊中
	受付兼任	矢口 金光	中村	府金剛	佐護	大阪商大	松井	市南

	ラジオドラマ		テレビドラマ		ラジオドキュメント		テレビドキュメント	
		所属		所属		所属		所属
審査員	主審	緒方 府桃谷	佐々木	府摂津	酒井	府堺西	佐々木	府摂津
	著作種	伴 府今宮工	浜田	府成美	戸野	府槻の木	浜田	府成美
		常盤 常翔	榎並	大阪学芸	瓦林	東海仰星	榎並	大阪学芸
		藤田 阪南大	大畠	府池田	水谷	市鶴見商	大畠	府池田
		松尾 府和泉総	西尾	箕面学園	三輪	関西大倉	西尾	箕面学園
		渡上 近畿大附	前川	市西	安田	府高槻北	前川	市西

受付	久下	府布施	本部
	佐護	大阪商大	会場
	中村	府金剛	会場
	松井	市南	会場
	矢口	金光	会場

本部	小畑	府金剛
	久下	府布施
	廣津	緑涼
	吉新	府春日丘
	中井	夕陽学

表3 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト
大阪大会決勝 及び 全国大会 結果一覧

※ 大阪結果欄が太字のものは全国大会へ進出

アナウンス部門

大阪結果	審査順	学校名	参加者名	全国大会結果
1位	13	天王寺	一ノ瀬 萌	準々決勝まで
2位	22	四天	中谷 有里	準々決勝まで
3位	12	アサ国	森 柚香	準々決勝まで
4位	23	仰星	橋本 穂	準々決勝まで
5位	21	夕陽学	山村 佳奈江	準々決勝まで
6位	19	成美	岸下 青空	準々決勝まで
入選	7	市立南	幸田 侑希	
入選	10	宣真	高橋 ちひろ	
入選	14	四天	高見 瑠莉夏	
入選	20	仰星	井上 舞柚	
入選	24	箕面	大玉 琴音	

朗読部門

大阪結果	審査順	学校名	参加者名	全国大会結果
1位	40	相愛	松本 夏葵	優良(6位相当)
2位	44	旭	竹尾 和季	準々決勝まで
3位	37	市立南	小林 瑞季	入選
4位	25	市立南	大庭 穂香	準々決勝まで
5位	29	四天学	鈴木 涼平	準々決勝まで
6位	11	桃山	上田 龍二	準々決勝まで
入選	24	帝塚山	西山 香奈子	
入選	30	市立南	市坪 未羽	
入選	38	帝塚山	古性 真央	
入選	42	帝塚山	菊田 千紘	

ラジオドキュメント部門

大阪結果	審査順	学校名	作品名	全国大会結果
1位	4	四天	あか・あお みどり!!	準々決勝まで
2位	2	金剛	共育	準々決勝まで
3位	6	近大附	前を向いて歩いていますか?	準々決勝まで
4位	1	箕面自	ゲーム世代	準々決勝まで
入選	3	夕陽学	人生の課題	
入選	5	成美	歴史を感じる	

ラジオドラマ部門

大阪結果	審査順	学校名	作品名	全国大会結果
1位	5	箕面自	muscle	準々決勝まで
2位	1	槻の木	あんこーるでラブコール	準々決勝まで
3位	2	箕面自	本命	
入選	3	桃山	俺は王子	
入選	4	槻の木	Forgetting Love	
入選	6	夕陽学	繋ぐ	

※ 全国大会は1位と2位のみ

テレビドキュメント

大阪結果	審査順	学校名	作品名	全国大会結果
1位	2	箕面自	リアス海岸に咲く椿	準々決勝まで
2位	3	金剛	高校生を蝕む闇〜ブラックバイト	準々決勝まで
3位	5	堺西	教科書をとびだせ!	準々決勝まで
4位	1	成美	食堂美を成すプロジェクト	準々決勝まで
入選	4	箕面自	同情なんていらない!	
入選	6	鶴見商	Starting small〜広げたい支援の和	

テレビドラマ

大阪結果	審査順	学校名	作品名	全国大会結果
1位	3	箕面自	好きでいること	準々決勝まで
2位	4	仰星	声を上げること	準々決勝まで
3位	2	箕面学	AI's	
入選	1	成美	オモイ	

※ 全国大会は1位と2位のみ

校内放送研究発表会

大阪結果	審査順	学校名	発表名	全国大会結果
研究奨励	1	金剛	効果的な映像撮影の工夫	研究奨励
研究奨励	4	相愛	お昼の放送をつくろう!	研究奨励
入選	2	槻の木	槻の木高校奔走部	
入選	3	仰星	音響お悩み解決君の開発	

総合優秀校

1位	91点	箕面自由学園
2位	56点	四天王寺
3位	33点	東海大学付属仰星

※ 3位、4位、5位は1点差

今回も朗読の準決勝を行うなどの案を考えましたが、日程などの都合上このようにいたしました。「決勝に45名進出は多いのでは」というご意見もいただきました。今後も対応を時間をかけて検討していきたいと思えます。ご意見がございましたらよろしくお願ひいたします。

③について、60回大会から5大会連続で研究発表のエントリーがあり、毎回エントリーが増えております。決勝での審査時間の関係で3発表分しか発表時間が取れないと言うことで、今回は「4発表以上のエントリーがあれば予選を行う」ことにしました。11発表のエントリーがありましたので、予選を行いました。本部を使ってライブ発表で予選を行いました。また決勝では、当初の予定を変更して全体会場でのライブ発表を行いました。全国大会でもステージ上での発表はありません。発表したみなさんも緊張したことでしょうが、よい経験になったかと思えます。

今回も参加校の顧問の先生方に、審査員や会場係としても関わっていただくことを行いました。前回は述べましたが、全国大会でも「審査・運営に付き添いの顧問の先生方にお願ひしたい」ということでしたので、大阪大会でもということで実施しております。今後も同じ方向で考えております。また、できるだけ多くの先生方に審査員をお願ひできますよう、技術講座でも審査についての時間を取っていきたくと考えております。

以前からも申し上げましたが、文化部の活動に対して、顧問の付き添いなど十分な理解を得られていない学校もあるようです。近年は付き添いの顧問に役割をお願ひすることは増えてきておりますので、事情をご理解いただきますようお願ひいたします。

無理をお願ひしたにもかかわらず、顧問の先生方にご協力いただいたおかげで予選がスムーズに進むことができました。ここにお礼申し上げます。

予選では、「大阪女子短期大学高校」から校名変更のあった大阪緑涼高校で行いました。廣津先生や緑涼高校の生徒さんが早くから準備していただいたおかげで、滞りなく予選を行うことができました。もちろん、参加されたみなさんの協力のおかげでもあります。改めてお礼を申し上げます。

決勝では、NHKの中村アナウンサーと竹下ディレクターに審査員長をお願ひしました。お二人ともお忙しい中で長時間の審査をしていただきました。各校の顧問の先生方にも長時間の審査をしていただきました。改めてお礼を申し上げます。

各部門の昨年度と比較を次の表4に示します。

ここからもわかるように、アナウンスのエントリーが減り、朗読が大きく増えました。確率論で済ませる訳ではないですが、いずれも全国には6名しか推薦されません。近年「朗読ブーム」で、いろいろな大学や団体が主催しての「朗読コンテスト」が行われています。いつも「朗読はただの本読みではない」ことを技術講座などを通じて訴えてきていますが、各コンテストで評価されるポイントが異なります。しかし、各コンテストに共通していえることは、「作品の内容をしっかりと理解して表現すること」だと思います。この部分を少しずつ伝えていけたらと思います。

部門	前回		今回	
	学校数	エントリー数	学校数	エントリー数
アナウンス	35	91	29	77
朗読	43	211	44	234
ラジオドキュメント	5	11	8	13
テレビドキュメント	7	8	6	7
ラジオドラマ	19	32	18	33
テレビドラマ	6	8	10	11
研究発表	5	6	9	11

表4 各部門の昨年度と今年度の参加学校数とエントリー数の比較

朗読について、課題作品が選ばれた割合を表5に示します。

表5 朗読作品内訳

	作品名	entry	決勝	決勝進出率
1	掌の小説	56	7	12.5
2	遠い朝の本たち	57	14	24.6
3	チア男子!!	96	20	20.8
4	愛の妖精	18	3	16.7
5	宇治拾遺物語	7	1	14.3
	合計	234	45	19.2

番組部門ではテレビドラマの参加校が4校増えました。前回同様、ドキュメントドラマとも一定レベルに達した作品が多かったという印象です。ラジオドラマは相変わらず30作品以上の参加があります。ラジオドラマに偏るのは、声優へのあこがれと「ドラマは脚本を書けばできる」と考えているふしもあるのかなと考えます。そもそも「ドラマとは」ということが理解できているのかな?と思われるところもあります。生徒たちに聞くと、普段はラジオをほとんど聞かないとか、聞いてもDJなどのトーク番組しか聞いたことがないようです。そのような生徒たちに実際に番組を作らせることは大変です。でもこれは教員向けの指導者講習会の席でも、「番組制作は、アクティブラーニングを実践しているのだ」と意見も出てきます。脚本を作り、編集をして、物作りの過程とその大切さが理解されるでしょう。しかし、全国に進出するためには、きちっとした準備が作品のレベルアップにつながるのかなと考えます。生徒だけでなく私たちも研修していくことが、大阪の課題の一つではないでしょうか。

決勝では、今回も卒業生に司会をお願いしました。渋谷高校の小林咲希さんと豊中高校の寺澤徳乃香さんです。小林さんはラグビーの場内放送も担当されているとか。また、寺澤さんにもいろいろなイベントの司会の依頼もあるそうです。そのような中、担当していただきました。お二人ともお忙しい中を本当にありがとうございました。

また、今回は決勝での「卒業生のトークショー」は研究発表会の決勝を行うために行いませんでした。どこかの機会で行えたらと思います。

(大阪夕陽丘学園高等学校 中井勝久)

第64回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会報告

放送コンテスト委員会

7月25日(火)～27日(木)の3日間、代々木のオリンピックセンターとNHKホールを会場に開かれました。上位入賞者・入賞作品と大阪からの出場者・作品の結果は以下の通りです。

【アナウンス部門】

優勝 山梨学院高等学校 廣瀬 久実
準優勝 長崎県立西陵高等学校 神尾 志桜里
優秀 岩手県立盛岡第一高等学校 武藏 未侑
奈良県立郡山高等学校 福田 あみ

*一ノ瀬 萌(天王寺)、中谷 有里(四天)、森 柚香(アサ国)、
橋本 穂(仰星)、山村 佳奈江(夕陽学)、岸下 青空(成美);準決勝進出ならず

【朗読部門】

優勝 熊本県立第一高等学校 成松 海悠
準優勝 長崎県立長崎西高等学校 大石 歩夢
優秀 長崎県立長崎東高等学校 櫻間 郁佳
青森県立北斗高等学校 木村 太飛

☆松本 夏葵(相愛);優良、小林 瑞季(市立南);入選

*竹尾 和季(旭)、大庭 穂香(市立南)、鈴木 涼平(四天学)、上田 龍二(桃山);準決勝進出ならず

【ラジオドキュメント部門】

優勝 広島県立呉三津田高等学校 三津田の証
準優勝 広島県立五日市高等学校 子守唄とハーモニカ
優秀 (島根)石見智翠館高等学校 自分らしく生きる
(愛知)名古屋市立北高等学校 家族のカタチ

*あか・あお・みどり!!(四天)、共育(金剛)、
前を向いて歩いていますか?(近大附)、ゲーム世代(箕面自由);準決勝進出ならず

【テレビドキュメント部門】

優勝 長野県松本深志高等学校 鼎談深志
準優勝 千葉県立船橋高等学校 projectG
優秀 青森県立青森工業高等学校 過去の栄光はゴミなのか?
福島県立磐城高等学校 中野先生

*リアス海岸に咲く(箕面自)、高校生を蝕む闇〜ブラックバイト(金剛)、
教科書をとびだせ!(堺西)、食堂美を成すプロジェクト(成美);準決勝進出ならず

【創作ラジオドラマ部門】

優 勝 富山県立南砺福野高等学校 自分の証明

準優勝 兵庫県立龍野高等学校 10分間彼氏

優 秀 愛媛県立新居浜西高等学校 これが僕。

*muscle (箕面自)、あんこーるでラブコール(槻の木);準決勝進出ならず

【創作テレビドラマ部門】

優 勝 新潟県立新潟高等学校 バレンタイン・デイ

準優勝 宮城県立宮崎大宮高等学校 案内ガール

優 秀 (鳥取) 国立米子工業高等専門学校 No Light No Act

*好きでいること(箕面自)、声を上げること(仰星);準決勝進出ならず

芸文祭 報告

「第 37 回近畿高等学校総合文化祭(大阪大会)放送文化部門」

(「第 38 回大阪府高等学校芸術文化祭放送文化部門」併催) 報告

大阪府立摂津高等学校 佐々木 孝夫

大阪大会放送文化部門は、11月19日(日)、大阪商業大学のユニバーシティホール「蒼天」で開催されました。当日は生徒実行委員や運営委員の先生方が臨機応変に良く働いて頂き、感謝しております。生徒実行委員はこの日のために何度も会合を重ね、司会の講習会もおこなってきました。また大阪商業大学には会場を提供して頂いた上、大会の運営に多大な貢献を頂きました。

開会式では生徒実行委員が司会進行を務め、生徒実行委員長と放送文化部門副部長が歓迎のあいさつをしました。続いて審査員として関西テレビ放送CSR推進部長の稲本謙三先生、大阪電気通信大学総合情報学部准教授の廣瀬俊彦先生、FM802DJの深町絵里先生、大阪の放送局でラジオパーソナリティーをつとめられる堀千尋先生が紹介されました。和やかな中にも緊張感溢れる会場で、午前中にアナウンス部門と朗読部門、午後からビデオメッセージ部門の発表がおこなわれました。

10時からおこなわれたアナウンス部門は、1分30秒以内で学校や地域に関するニュースを発表します。話し方読み方の他にニュース原稿の内容も審査の対象となります。アナウンス発表の様子は舞台正面のスクリーンにも大きく投影されました。

10時55分からは朗読部門がおこなわれました。学校や地域に関連する作者や作品を、2分以内で発表です。これも読み方話し方の他にどの作品を選ぶか、そして作品のどの部分を取り上げるかによって随分と違ってきます。朗読部門は、正面のスクリーンに発表者の緊張した表情などをアップで映し出しました。

昼休みをはさんで13時からビデオメッセージ部門の開始です。自由なテーマで作った5分以内のビデオ作品の発表です。司会の生徒が、制作代表者に学校名やタイトル、見所などをインタビューした後、上映が始まります。シリアスなドキュメンタリーあり、放送部の苦悩をパロディにした作品ありで、息を詰めて見守ったり、爆笑したりと会場の反応も様々でした。

また、13時からのビデオメッセージ部門と平行して、別の教室で「話し方・読み方クリニック」がおこなわれました。午前中に開催されたアナウンス部門、朗読部門の出場者を中心に、アナウンス技術の講習や午前中の発表の注意などがおこなわれました。講師は高校放送部インストラクターの安田知博先生です。安田先生には、生徒実行委員会の司会の講習会でも講師をお願いしていました。こちらの予想を大きく上回る多数の参加者があり、10府県の生徒達がいくつかのグループに分かれて、和やかにアナウンスや朗読を発表したり批評しあったりしていました。

15時10分からビデオメッセージ部門、「話し方・読み方クリニック」が再び合流して交流会が行われました。交流会は生徒実行委員会の中に交流会担当委員を組織し、事前の準備やリハーサルを何度も繰り返してきました。大阪府の難解な読み方の駅名クイズですが、大阪名物？の紫メッシュにヒョウ柄シャツのおぼちゃんや、たこやきの扮装のキャラクターなどが登場し、大阪らしい楽しい交流会でした。

16時からの閉会式では審査員の先生方による講評がおこなわれました。アナウンス部門を堀千尋先生、朗読部門を深町絵里先生、ビデオメッセージ部門を稲本謙三先生に講評して頂き、注意やアドバイスを頂きました。その後各部門の最優秀賞と優秀賞の発表と、表彰状の授与がおこなわれました。そして次年度開催県である徳島県代表生徒のあいさつ、大阪府実行副委員長のあいさつで閉会となりました。

当日はほぼ予定時間通り運営することが出来、また閉会式後には他府県の参加者から感謝の言葉を頂きました。また大阪府の実行委員と他府県の出演者が手を握りあって別れを惜んでいる風景もありました。来年の徳島での再会を約束し合い、無事に大阪大会を閉会することができました。

大阪大会を無事に終えることができたのも、実行委員の生徒と運営委員の先生方が本当に一生懸命頑張ってくれたからだと思います。また、会場提供を始め大阪商業大学に全面的なバックアップをいただいたこと、長時間の審査をして頂き、貴重なアドバイスを頂いた審査員の先生方のご協力、大会に参加して頂いた皆様のおかげであると感謝いたします。

以下に開催概要および入賞者を記します。

1 開催日時 平成29年11月19日(日) 9:00~17:00

2 会場 大阪商業大学 「ユニバーシティホール蒼天」

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL 06-6781-0381

時間	場所	備考
9:00 ～ 9:30	受付	ホール入口・ホワイエ
9:30 ～ 10:00	開会式	1. 開式あいさつ（放送文化部生徒実行委員長） 2. 第37回近畿高等学校総合文化祭兵庫県実行委員会 放送文化部会長挨拶 3. 審査員紹介 4. 諸連絡
10:00 ～ 10:55	アナウンス小部門	
10:55 ～ 12:10	朗読小部門	
12:10 ～ 13:00	昼休み	
13:00 ～ 15:10	話し方・読み方クリニック	4号館2階421教室
13:00 ～ 15:10	ビデオメッセージ小部門	13:15～14:15 代表者会議（4号館2階427）
15:10 ～ 15:55	交流会	
16:00 ～ 17:00	閉会式	1. 講評 2. 成績発表 3. 表彰式 4. 第37回近畿高等学校総合文化祭兵庫県実行委員会 放送文化副部会長挨拶 5. 次年度開催地（徳島県）あいさつ 6. 閉会あいさつ（放送文化部生徒実行副委員長）

◆アナウンス小部門 10:00 ～ 10:55

	府県名	学校名	学年	発表者氏名	作品名
1	兵庫	兵庫県立須磨東高等学校	2	北村日々花	生徒会長は放送部員
2	兵庫	兵庫県立御影高等学校	1	工藤 恵	御影高杉
3	兵庫	兵庫県立兵庫高等学校	2	宮本 陽子	観客に届けるダンスの楽しさ
4	三重	高田高等学校	2	宇野 夏未	MKP～三重県高校生活活性化プロジェクト～
5	三重	三重県立名張高等学校	2	酒井 優	次の100年に向けて
6	福井	福井県立羽水高等学校	3	向川茉莉衣	紙ってる内藤さん
7	福井	福井県立武生東高等学校	2	谷口 伊織	海士の先生
8	大阪	大阪府立成美高等学校	3	亀石 梨花	堺をひとつに
9	大阪	四天王寺高等学校	2	高見瑠莉夏	大阪にかける虹
10	大阪	近畿大学附属高等学校	2	小笠原圭子	難民の子どもたちに服を贈る
11	京都	同志社国際高等学校	2	小林 緋	京町屋、再び
12	京都	京都府立鳥羽高等学校	2	小森 優希	めざせBest City
13	和歌山	和歌山県立橋本高等学校	2	嶽部 美咲	水曜日は、学食へ

14	和歌山	和歌山県立向陽高等学校	1	廣田 尚貴	ようこそ、僕のふるさとへ
15	徳島	徳島市立高等学校	2	藤田ひかる	落語で学ぶやさしい日本語
16	徳島	徳島県立川島高等学校	1	山下 茉凜	まけまけいっぱい、徳島
17	徳島	徳島県立阿波高等学校	1	西口 名津	私たちの購買
18	滋賀	光泉高等学校	2	村川 夏音	近江の言の葉
19	滋賀	光泉高等学校	1	野間 一輝	後世につなぐ
20	奈良	奈良県立奈良高等学校	1	川見 真宵	ビリョクだけどもリョクじゃない!!
21	鳥取	鳥取県立鳥取西高等学校	1	遠藤 晴華	Free!なまちおこし
22	鳥取	鳥取県立鳥取西高等学校	1	橋本 茉奈	しゃんしゃんと6年間

◆朗読小部門 10:55 ~ 12:10

	府県名	学校名	学年	参加者氏名	作品名
1	徳島	徳島県立徳島北高等学校	2	佐川 蓮	眉山
2	徳島	徳島県立城北高等学校	3	村上 あや	眉山
3	徳島	徳島県立脇町高等学校	3	田岡 舞香	いなくなれ、群青
4	滋賀	光泉高等学校	2	坂口 陽月	トリガール!
5	滋賀	滋賀県立東大津高等学校	3	伊藤 楓子	f 植物園の巣穴
6	奈良	奈良県立郡山高等学校	2	西村 拓馬	恋都の狐さん
7	奈良	帝塚山高等学校	1	榮 育美	萌の朱雀
8	鳥取	鳥取県立青谷高等学校	1	鈴木 裕也	伏
9	鳥取	鳥取県立鳥取東高等学校	2	垣屋 真歩	妖怪と歩く
10	兵庫	神戸山手女子高等学校	2	岩崎 乃愛	すべての怒りは水のごとくに
11	兵庫	兵庫県立鳴尾高等学校	2	中塚 遥香	阪急電車
12	兵庫	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	2	知念 龍豊	阪急電車
13	三重	三重県立四日市高等学校	2	辻 夏香	流れ星が消えないうちに
14	三重	鈴鹿高等学校	1	寺尾 麻唯	神去なあなあ日常
15	福井	福井県立羽水高等学校	1	大和沙耶香	砂漠の青がとける夜
16	福井	仁愛女子高等学校	1	佐々木美佳	太陽のパスタ、豆のスープ
17	大阪	大阪市立南高等学校	2	山口 美咲	天国はまだ遠く
18	大阪	大阪府立旭高等学校	3	竹尾 和季	檸檬
19	大阪	相愛高等学校	3	松本 夏葵	持参金
20	京都	京都府立鳥羽高等学校	2	岸 菜々美	有頂天家族
21	京都	同志社国際高等学校	2	大石 紀奈	古都
22	和歌山	和歌山県立橋本高等学校	2	吉田 陸	海難1890
23	和歌山	和歌山市立和歌山高等学校	2	北村 芽久	蟻の構図

◆ビデオメッセージ小部門 13:00 ~ 15:10

	府県名	学校名	制作代表者	作品名
1	大阪	大阪府立成美高等学校	今村 滉樹	届け世界に！堺の挑戦
2	大阪	大阪府立旭高等学校	南里 裕樹	(^o^)(^~^#)(/_;)\'(^o^)/
3	大阪	東海大学付属仰星高等学校	中田美那代	枚方にワニ？
4	京都	立命館高等学校	鈴木 智貴	Irregular
5	京都	同志社国際高等学校	西川 実佑	MA・CHI・YA—京町家再生—
6	和歌山	和歌山県立桐蔭高等学校	山口 明	
7	和歌山	和歌山県立那賀高等学校	宮井 菜月	
8	徳島	徳島市立高等学校	齋藤 美月	特集「市高漕艇部」
9	徳島	徳島県立徳島北高等学校	吉成 雄祐	徳島の「カツ」
10	滋賀	滋賀県立草津東高等学校	中村 萌愛	しゃぼん玉が虹色なわけ
11	滋賀	光泉高等学校	小島 潮香	むすぶ
12	奈良	奈良県立高田高等学校	樽林未希子	The 柿の葉ずし
13	奈良	奈良県立王寺工業高等学校	廣川 友紀	絆のパーツ
14	鳥取	鳥取県立米子南高等学校	金谷 彩加	自虐は鳥取を変える
15	鳥取	鳥取県立鳥取東高等学校	垣屋 真歩	RAKUDA ON THE SAND DUNE
16	兵庫	兵庫県立津名高等学校	入野 裕也	天空の放送室
17	兵庫	兵庫県立北条高等学校	村上 紋佳	次の世代へ — あびき湿原を守るために —
18	兵庫	兵庫県立淡路三原高等学校	山本彩也花	語る・遣う・奏でる
19	三重	三重県立松阪高等学校	栗山 尚子	未来予「創」図
20	三重	三重県立久居農林高等学校	河上 夢歩	そうだ、「Z」に行こう！
21	福井	啓新高等学校	吉田 晴香	
22	福井	福井県立藤島高等学校	田嶋 真寛	地域を支えるみんなの第三セクター ～えちぜん鉄道～

放送文化部門 表彰

種目	順位等	受賞校(団体)	受賞者名	作品名
アナウンス 小部門	最優秀賞	福井県立武生高等学校	谷口 伊織	
	優秀賞	徳島市立高等学校	藤田 ひかる	
	優秀賞	奈良県立奈良高等学校	川見 真宵	
	優秀賞	奈良県立高田高等学校	濱野 杏実花	
朗読 小部門	最優秀賞	相愛高等学校	松本 夏葵	
	優秀賞	福井県立羽水高等学校	大和 沙耶香	
	優秀賞	同志社国際高等学校	大石 紀奈	
	優秀賞	和歌山市立和歌山高等学校	北村 芽久	

ビデオ	最優秀賞	立命館高等学校		Irregular
メッセージ	優秀賞	同志社国際高等学校		MA・CHI・YAー京町家再生ー
小部門	優秀賞	鳥取県立米子南高等学校		自虐は鳥取を変える
	優秀賞	兵庫県立津名高等学校		天空の放送室

全総文報告

（「第41回全国高等学校総合文化祭（宮城大会）放送部門」報告）

大阪府立摂高等学校 佐々木 孝夫

本年度、第41回全国高等学校総合文化祭放送部門は、平成29年8月3日（木）・4日（金）の2日間、宮城県仙台市の日立システムズホール仙台を舞台に、アナウンス・朗読・オーディオピクチャー・ビデオメッセージの4部門が開催されました。

大阪府からは下記の出場者、出場校が代表として参加しました。

(1) アナウンス部門 （大阪府より3名）

大阪夕陽丘学園高等学校 山村佳奈恵（1年）

大阪市立南高等学校 幸田 侑希（2年）

浪速高等学校 木下 慧斗（1年）

(2) 朗読部門 （大阪府より3名）

大阪夕陽丘学園高等学校 鬼頭 永真（2年）

大阪市立南高等学校 小林 瑞季（2年）

浪速高等学校 児玉 玲奈（2年）

(3) オーディオピクチャー部門 （大阪府より1作品）

大阪夕陽丘学園高等学校 放送部 「大阪の船」

(4) ビデオメッセージ部門 （大阪府より2作品）

大阪夕陽丘学園高等学校 放送部 「歩み～歴史ある坂～」

堺市立堺高等学校（定時制の過程）AVAクラブ「堺のお線香」

<資料編>

コンテスト大阪大会決勝 審査委員長講評

中村宏アナウンサー（NHK 大阪） アナウンス・朗読部門

お疲れさまでございました。審査の結果はあとで発表になりますが、例年僅差で、1点違いで順位が1つ下がるというような感じでした。一所懸命やってくれたことに対して、主催者側として、大変ありがとうございます。また、指導してくださった先生方も本当にありがとうございました。みんな今日何曜日？日曜日だね。先生って忙しいの知ってるよね？いま問題になってるもんね。先生方、忙しいのに日曜日出てきてくれて、こういう大会を開いてくれたってことについて、まず先生に感謝してくださいね。よろしく願いますね。終わった後、ちゃんと「ありがとうございました」と言ってください。それから、家に帰ったら保護者の方に「行ってきました」とって報告してくださいね。よろしくね。

アナウンス部門ですけど、審査員の皆さん口をそろえて言っていたのは、何を伝えたいのか分からない。何と言いますか、発表のための発表と言いますか、コンテストのための原稿みたいなのがなくて、結局何を言いたいのかよく分からない内容のものが多かったと。ニュース性は、要するに何がニュースかということが分からない内容のものが少なくなかったということです。あとは、だから「へえ～」と思うようなね。放送だったらそうですね、「へえ～」と思うようなものがない番組、見ないもんね。そういうことですね。それから、取材先が1箇所、取材先が1人のような発表が多かったですよね。それが良くないということではないですけども、ちょっと楽しってるんじゃないかなという感じはありましたね。あと、その取材先が言ったコメント、インタビューしたコメントと、前後のコメントがリンクしていない内容というのが散見されましたね。ですからまあ、複数取材するような内容にも、ぜひ挑戦していただきたいということでもあります。

それから、朗読部門でいいますと、やっぱりセリフの部分と地の文のメリハリというのを、つけている人が上位に来ましたね、やっぱりね。間を上手に取っている人、それから緩急をつけている人というのは、どうしても点数が高くなります。ですから、ぜひ録音にとって練習してください。で、セリフの部分は、できたら、私がやる方法は、最初に大げさにやってみるんです、セリフの部分。地の文でもですね、客観的な事実、時間経過、事実などを言っている部分と、主観が入っている部分とがありますよね。そういうところを読み分けるといことも大事ですし、セリフの部分を、私だったらおおげさにやって録音をとるんです。そうするとね、面白いことがわかりますよ。大げさにやったつもりが、全然大げさになってない。だから、思っている倍以上の感情というか、変化をつけないと変化がつかない。緩急もそうですね。緩急をつけたつもりでも、思っている倍ぐらい緩急をつけないと、聞いていてわかるぐらいの変化にならないんですよね。だから日常的に録音をとって、いまスマホでとれるでしょ？録音をとって色々やってみると、高い声でやってみるとか低い声でやってみるとかね。だから上位に入った人たちは、登場人物の声の高さなんかを上手に変えてましたよね。速さとかね。だから、他の人の、上手な人のをぜひ参考にさせていただきたいと思います。

それから、順不同になるんですけど、特にアナウンス部門ですが、速い人が多かったね。トットコトットコトットコってね。とつとこハム太郎って知ってる？（場内笑）古い？まだある？…はい。トットコ行っちゃって間がない人ね。あとね、間が全部同じ。間が全部同じだと、1分聞いていても飽きるん

です人間。上手な人は、特にアナウンス部門でも、いいところで間をとった人っていうのは、間を取る
ことによって、そこまでの部分を聞いている人が腑に落ちるわけです。納得できる。で、その後を聞こう
という気持ちになるわけですね。それからね、これは両方そうかなあ、アナウンス朗読、なんかアニメ
メ発声みたいなのが年々増えてきてるんですよ。特にその特徴はね、かわいい声を出すということと、
語尾に特徴がある。語尾が息を抜くの。アニメ発声と我々言っていますけど。今年はブツ切れは割と少
なかった。少なかったんですが、むしろ意味のまとまりで読むのを意識しすぎている人と、意味のまと
まりをきちんと捉えていない人と、両方あったよね。審査員から出たのは、いわゆる句読点ってあるで
しょ、読点、「、」ね、特に小説なんかそうですけど、「、」は、小説っていうのは、朗読をするために書
いたもんじゃないんです。目で見てもわかりやすいように書いてあるんです。だから「早速、行ってみよう
」と書いてある。「早速」のあとに「、」があるでしょう。あれは目で見てもわかりやすいように「、」が
打ってあるんであって、「さっそく（間）いってみよう」じゃないよね。「さっそくいってみよう」だよ
ね。「、」にとらわれない。「、」にとらわれないで、安田先生が言っていたのは「一度全部点を取っちゃ
え」って、そういう方法もあるよね。自分で意味のまとまりで点を打つというやり方もあるよね。

それから、これは全国大会に行った時に不利になるんですけども、全国大会はどうしても東京の人た
ちが審査をするのね。そうすると、かつてここは日本の中心だったんだよ。にもかかわらず、関ヶ原で
まけたためにですね、石田三成がしっかりしてなかったためにですね、大坂の陣で負けたためにね、世
が世であればここが都なんだよ。だけど、しょうがないの。徳川家康が向こうに行っちゃったんだから。
で、そうするとね、例えば無声音。アナウンスで言うと、「人工的に孵化させる」の「ふ」は無声化しま
す。「機械」は「きかい」だけど「きかい」って読んでいる人がいましたね。「すっかり」を「すっかり」
と言っている人がいましたね。「人」は「ひと」ではなく「ひと」です。全国大会へ行くとみんな上手い
から、するとこんなつまんないところでマイナス1点つけられるわけよ。冗談じゃない。本当は関西弁
のほうが日本の中心だったんだよ。（場内笑）。もともと東京弁っていうのは荒っぽい言葉で、こっちの
人は下品な言葉って言ってたのよ、昔は。それが、いま向こうが共通語になっちゃったんだよね。

まあそういうようなわけで、きょうこれから発表しますけども、上位の人たちというのは、間が上手
かった。朗読で言うとね、アナウンスでもそうです。それからテンポ。強弱。そういうものにうまく変
化をつけていました。そういう人に審査員はどうしても点数入れちゃうんだよね。あ、工夫してると思
って。1分とか1分半で勝負する時に、色々聞くじゃん。声はちゃんと出てるかな？きょうの決勝だっ
たら、もうみんな声は出てるわけですよ。そうするとどういう違いがあるか、どこで点数が開くかとい
うと、そういうことですよ。ということで、代表に、全国大会にいらっしゃる皆さんは、さらにラン
クアップして、全国大会入賞目指して、10代ががんばってますからね、スポーツでも将棋でもね、ぜ
ひ頑張ってきていただきたい。みなさんお疲れさまでした。

竹下健一郎デスク（NHK大阪放送局制作部） 番組部門

みなさんお疲れさまでした。みなさんの作品、大変楽しく拝見拝聴しました。いまの高校生ってこう
いうことを考えているのかなあと。そういうことを知りたくて、この審査員の話があった時にボク志願
して今日この場に立っているんですね。やっぱり新鮮な、スマホであったりゲームであったり、今まで

で無いような題材をテーマにされているのが、すごい私としては刺激的でした。簡単に部門別にどんなことを思ったかを言ってみます。

ラジオのドキュメントのところなんですけれども、やっぱりその、僕が高い評価をつけたところっていうのは、非常に身近な話題からすごい普遍的なテーマに最後落ち着いているような、そういうテーマを選んでくれた学校とか、すごい好印象を持ちましたよね。やっぱりこう、いきなり「自由とは何か」とか「権利とは何か」って言われるよりも「いやあ最近学校の話でこうなんだけども」っていうのがあって、でも途中で専門家の話をはさみながら、あ、最後そんな普遍的なテーマへ行っちゃんだっていうのはけっこう展開が面白いなと思ったような学校があって、そういうところに私は非常に高い評価をしました。もう一つちょっと言いたいのは、「ラジオ」ドキュメントじゃないですか。だからもっと音を意識したテーマがあっても良かったのかなと思ったんですよ。なんかこれテレビでやっても別にいいじゃんとか、テレビのほうがいいんじゃないっていうテーマもあって、ラジオっていうのは映像がないから不利なように思うけど、逆に想像を膨らませさせられるという意味では利点もあるわけですよ。だったら、なんかこう、音を非常に大切にしているようなニューステーマとか探したら、もっと面白くなったのかなと思いました。

ラジオドラマの部門ですね、ここは僕の中でははっきりパッキリ二つに分かれていますね。やっぱりその、面白いって言うのと、ええっ？って言うのと。本当に2つに分かれています。まずこのラジオって音だけで、これはマイナス面なんですけど、声しか聞き分けられないから、登場人物が多いとそれだけで分からなくなっちゃうんですね、設定とかが。で、設定がわからないと、まあ人間、1分とか1分半ですね、聞いてられるのは。正直、もう集中力が勝手にOFFちゃって、そこから先、何もきかなくなります。悲しいぐらいに。僕とか、漫才の番組をよく作っているんですけど、漫才コンテストっていう番組があったら150人ぐらい上方の漫才師来るんですよ。1日70組ぐらいひたすら4分間の漫才を聞くんですね。つまらない漫才師は30秒でOFFりますね。で、もう次のプロフィールとか僕から見出します。まあ、それくらい残酷なもんですね。だから冒頭って非常に大切に、その設定がわからないと人間はそれ以上聞いてくれない、っていうぐらいに思ってください。逆に言うと、うまくいったところっていうのは、非常に登場人物も少なかったり、逆にラジオの利点を生かして、映像化は非常に難しいんだろーな、でもラジオだからちょっと面白く聞いていられるぞ、っていうようなドラマが上位に入っていたと思います。

続いてテレビドキュメントなんですけど、このテレビドキュメントは、僕がすごい意識して見ているところがあって、単なる何かの紹介に終わっているか、ちゃんとストーリーが構築されているかというところを僕は非常に見てます。ドラマがフィクションでドキュメンタリーはノンフィクションと思うじゃないですか。実は僕の考えでは間違っていて、どちらもフィクションなんですよ、ある種。だからストーリーということを、実際に取材する時にも考えないといけない。単に、例えば皆さんの放送部を紹介するときに、ある人は「Aさんという人がいますBさんという人がいますCさんという人がいます。」これ単なる紹介で、僕に言わしたらこれダメなんです。ドキュメンタリーっていうのは、「今日はBさん深刻そうな顔をしています。何があったんでしょうか。聞いてみると『いやあ、実は明日大事な発表があって』『え、何の発表があるの?』『いや、ちょっといま言えません』」としたら、次、聞きたくなりませんかこのBさんの発表を。こういうふうに、実際のドキュメンタリー、ノンフィクションであったとしても、展開を考えるってことをすごく意識する必要は実はあるんですね。それはやっぱり僕の中で

それも別れていて、本当に展開が面白いのと、単なる紹介に終わってるんじゃないのこれ、っていうのは、二つありました。

最後に創作テレビドラマ部門なんですけど、ここはやっぱり、ラジオと一緒になんですけど、設定がわからない、何が言いたいかわからないというところで、まずこれキツイなあというのがありました。一方で、非常に明確に、ああ、この主人公に感情移入すればいいんだっていう設定がしっかりしているドラマは、高い評価が得られてましたね。

だから、テレビにしてもラジオにしても、最終的には「面白い」とか「感動した」っていうところに持っていくのが、僕ら制作者の一つの役割なんですけど、その前に、「分かる」という壁があるんですよ。人にまず設定を分らないと、「面白い」「感動」には絶対に行かないから、その「分かる」の壁ではね返されている作品というのが、まあ結構あったかなと思いました。

一番最後に言いたいのは、みなさん作り手じゃないですか。「二つの頭」って意識してほしいんですよ。「二つの脳みそ」と言ってもいいかもしれない。自分の脳みそと、視聴者の脳みそ。自分たちがこういう言葉を発した時に、視聴者の脳みその中ではどういう感情が浮かんでくいるのか、どういう気持ちになっているのか、ということ意識してほしいんですよ。必ず二つ。それはもう、自分のやっていることに客観性を持つっていうことなんですけれども。今回は、すべてのドキュメンタリーもドラマも、だいたいパクッと二つに分かれていて、絶対に、優れた作品っていうのは、受け取り手がどう思っているのかをちゃんと意識しているところまで意識が及んでいた。そういう作品に関しては、面白く見せていただきました。テレビに関心を持っていただいている皆さんのような若者が、今後のテレビを作っていくと思います。またがんばってください。ありがとうございます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会「大阪高視研」公式ホームページのご案内

<http://www.koushiken.jp>

NHK 杯全国高校放送コンテストの要項・申込み、及び結果・講評

高校生のための放送技術講座の要項・申込み、及び結果・講評

優秀作品のストリーミング

リンク集（Nコン公式、NHK クリエイティブライブラリ、JASRACなど）

質問メール用フォーム など

公式ブログ「大阪はひとつ！放送ぶろぐ」も開設しました。

結果速報や諸連絡などの発信を行っています。

<http://blog1.koushiken.jp>

発行日	平成30年3月31日
発行所	大阪府高等学校視聴覚教育研究会 事務局：大阪市生野区勝山南3-1-4 大阪府立桃谷高等学校内（電話）06-6712-0371
発行責任者	岩崎判二（大阪府立桃谷高等学校校長）
編集委員	久下哲也（大阪府立布施高等学校）